

ある日の出来事

one day

青色海石化美術館
Aoi Umi Ika Bunko Museum

青色海美術館へようこそっ♪

アタシはあ

当美術館オーナーのお娘

青色 アリサでくす♡

えっとねえアタシをお

いますぐブチ犯したい人お

この指止くまれえ♡♡

あはっ♪



「わぁ〜いっぱいきたねっ♡」

「お兄さん達い
そんなにアリサを犯したいのお？
アリサ怖い♡♡♡」

ゾロ
ゾロ

ゾロ
ゾロ
ゾロ



「アリサが上になってえ？
どうするのぉ？」

「あはあ♪」

「ひひひ、どうしよっかなあ」

「はははッ!!」

「うひひ」

「あっ……♡」

オチンチン増えちゃったねえ」

「同時に3本とがあ
アリサを壊す気マンマンだね♪」



「わっわっわ♡スツゴイおっきい」

「極太オチンポでえ
犯されちゃうっ♡♡♡」

「ほれほれえ
入っちゃうぞお」

ズ
ッ
…







「おっんあぁ」

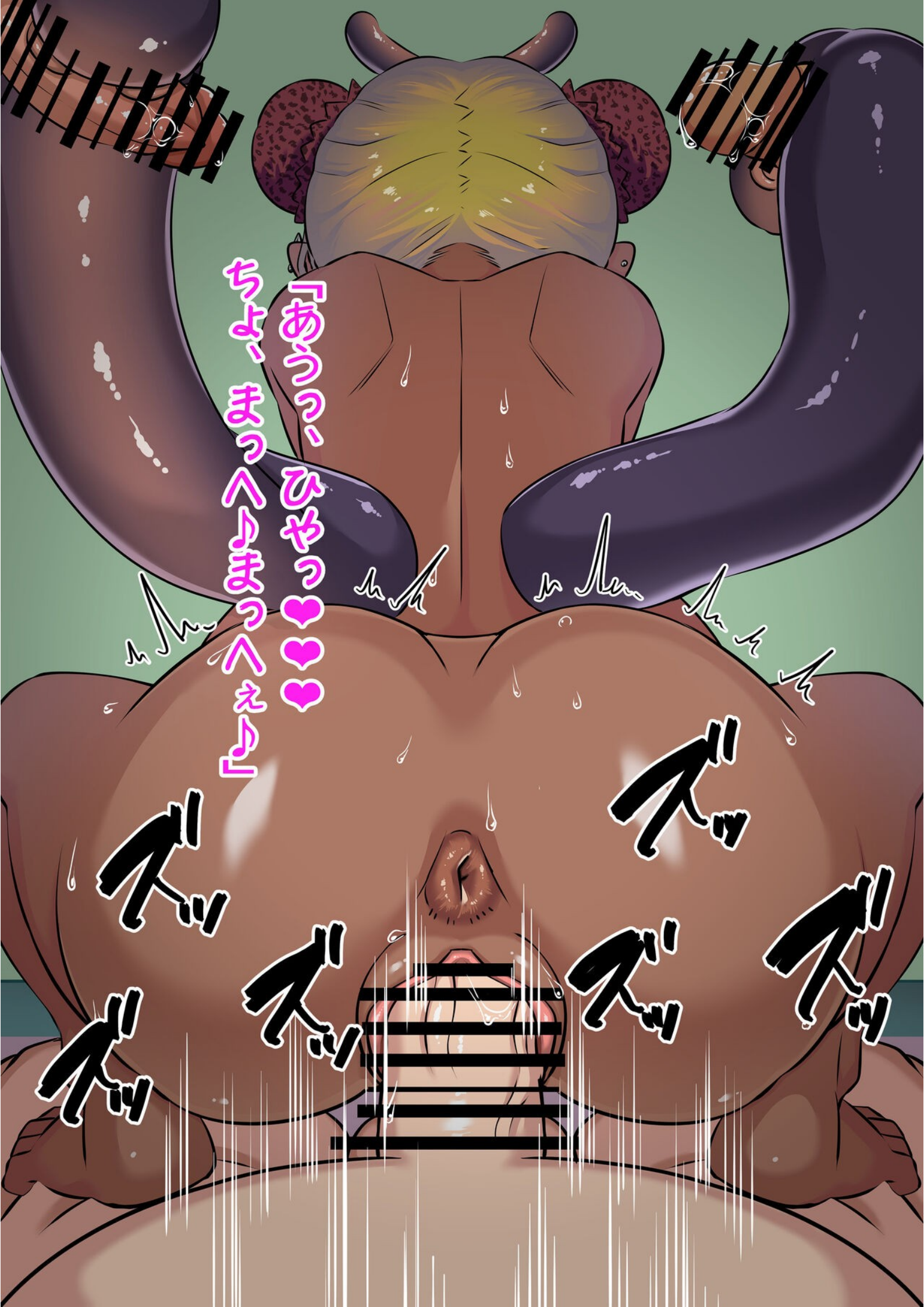
あっ♡」

ズッ

ズッ

ズッ

ズッ



「アリサちゃん、
オマンコばかり相手しないでえ
俺達も触手で相手してよお」

「ぽーごめんれえ♡」

ズ
ン
ッ

ズ
ン
ッ

ズ
ン
ッ



「ひぎいっ」

「うほっ!
いい触手ううう」

「じゅわんじゅわんじゅわん」

ズッ

ズッ

ズッ

ズッ

ズッ

ズッ



!!うツツツ!!

「こっちもおざなりになつちやあ 困るよお、ひひひ」

グッ

グッ

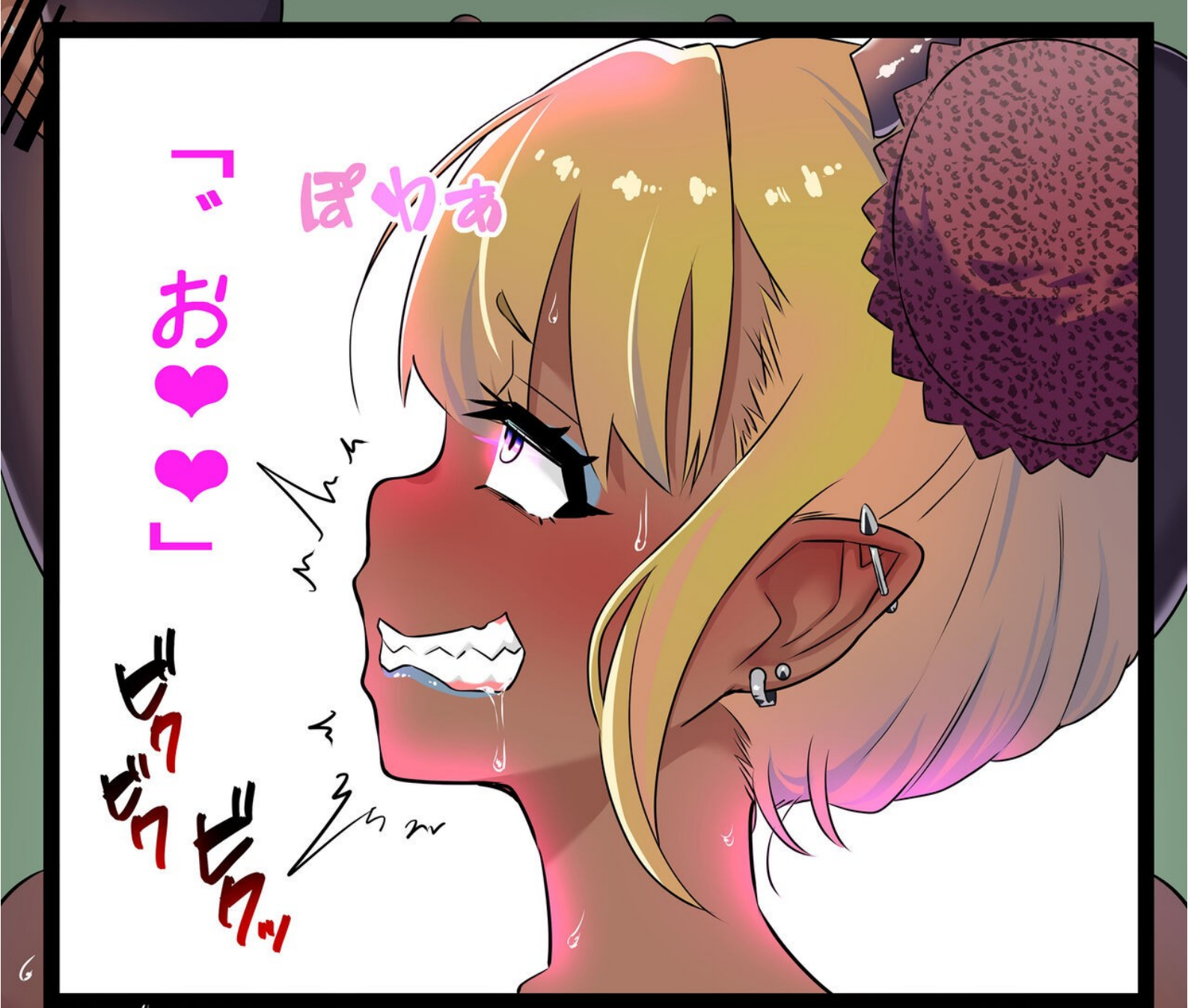
グッ

グッ

グッ

グッ

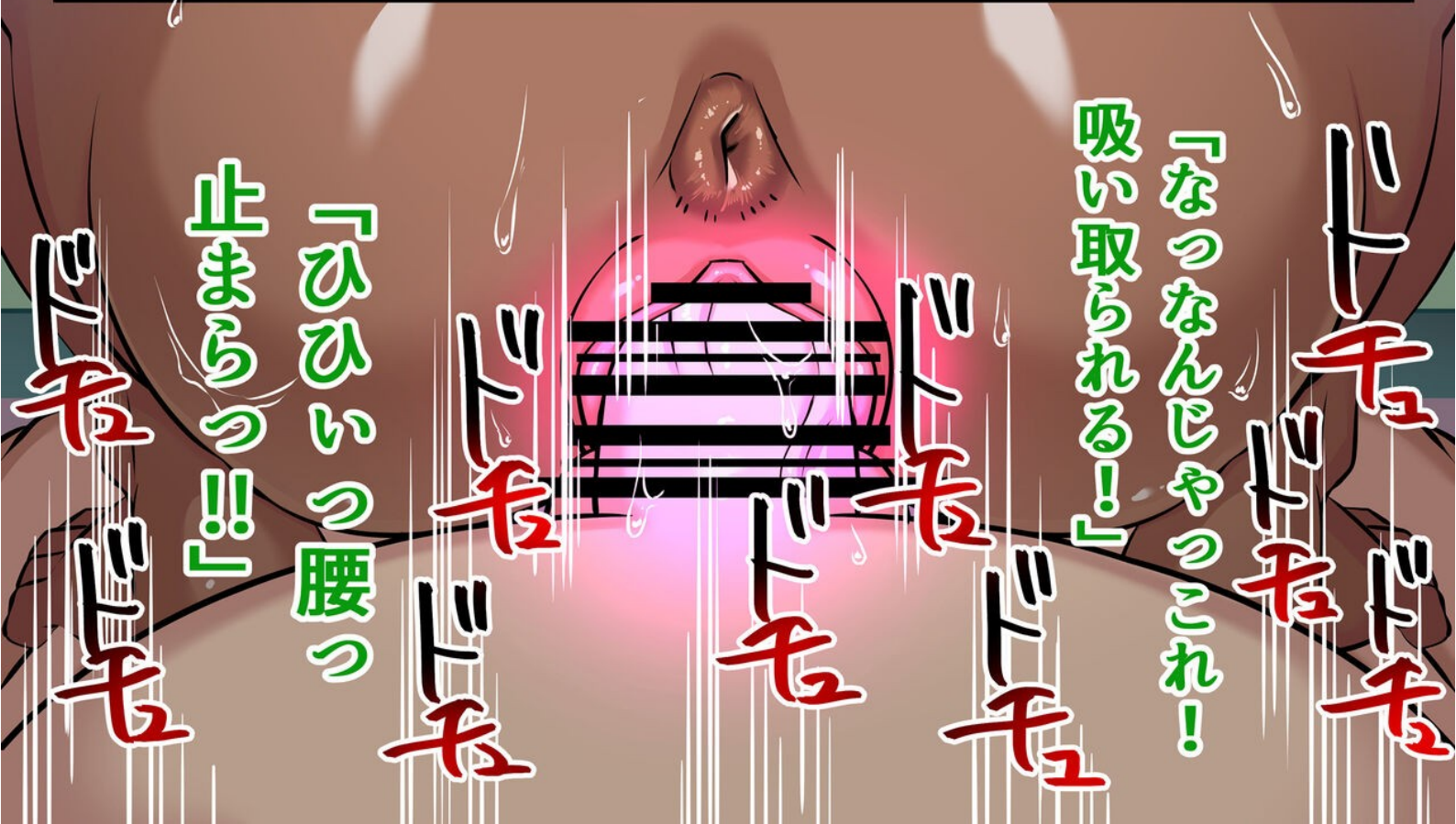




「お♡♡」

ぽわあ

ゼクゼク



「なっなんじやつこれ！
吸い取られる！」

ドチュドチュ

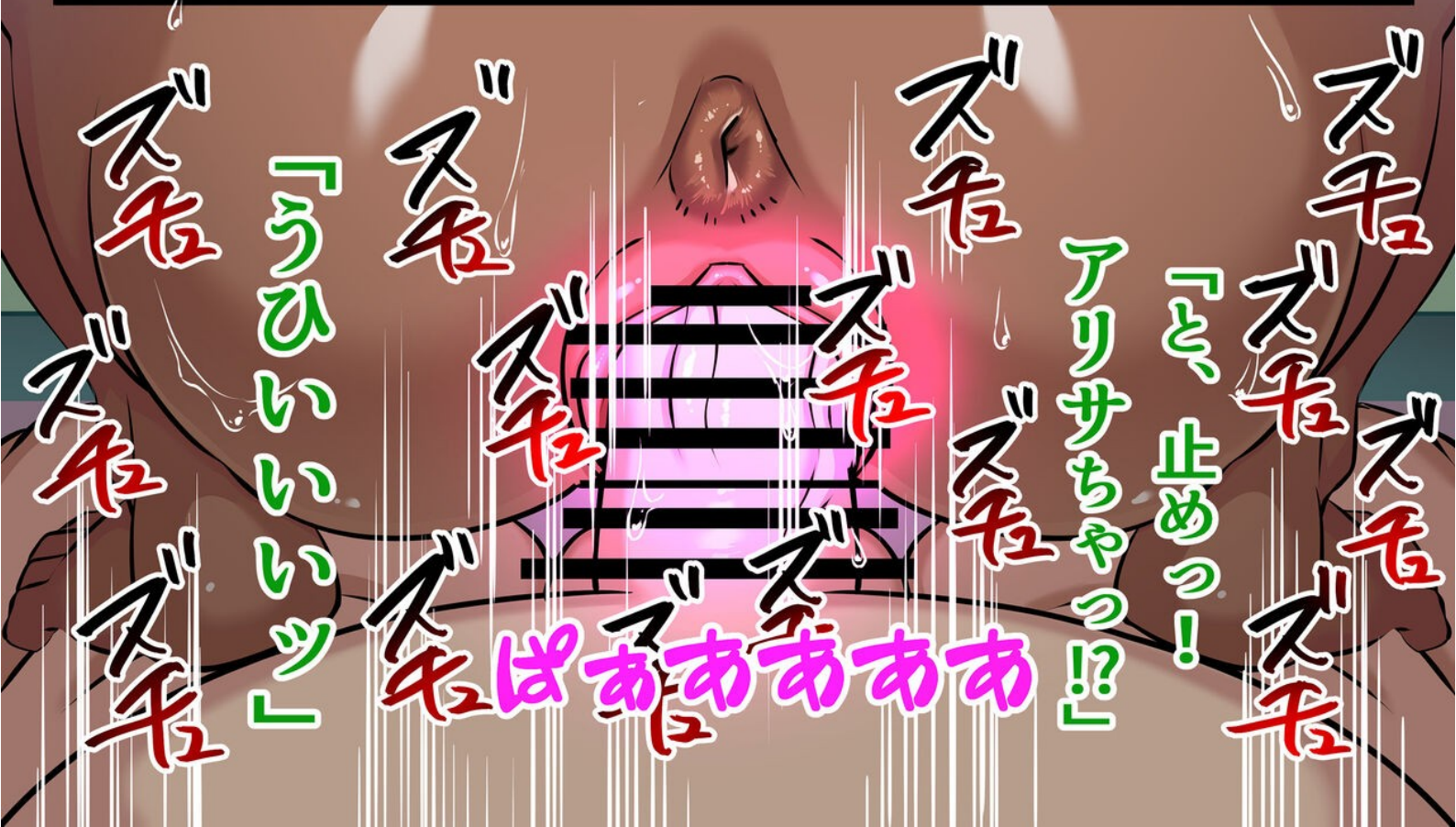
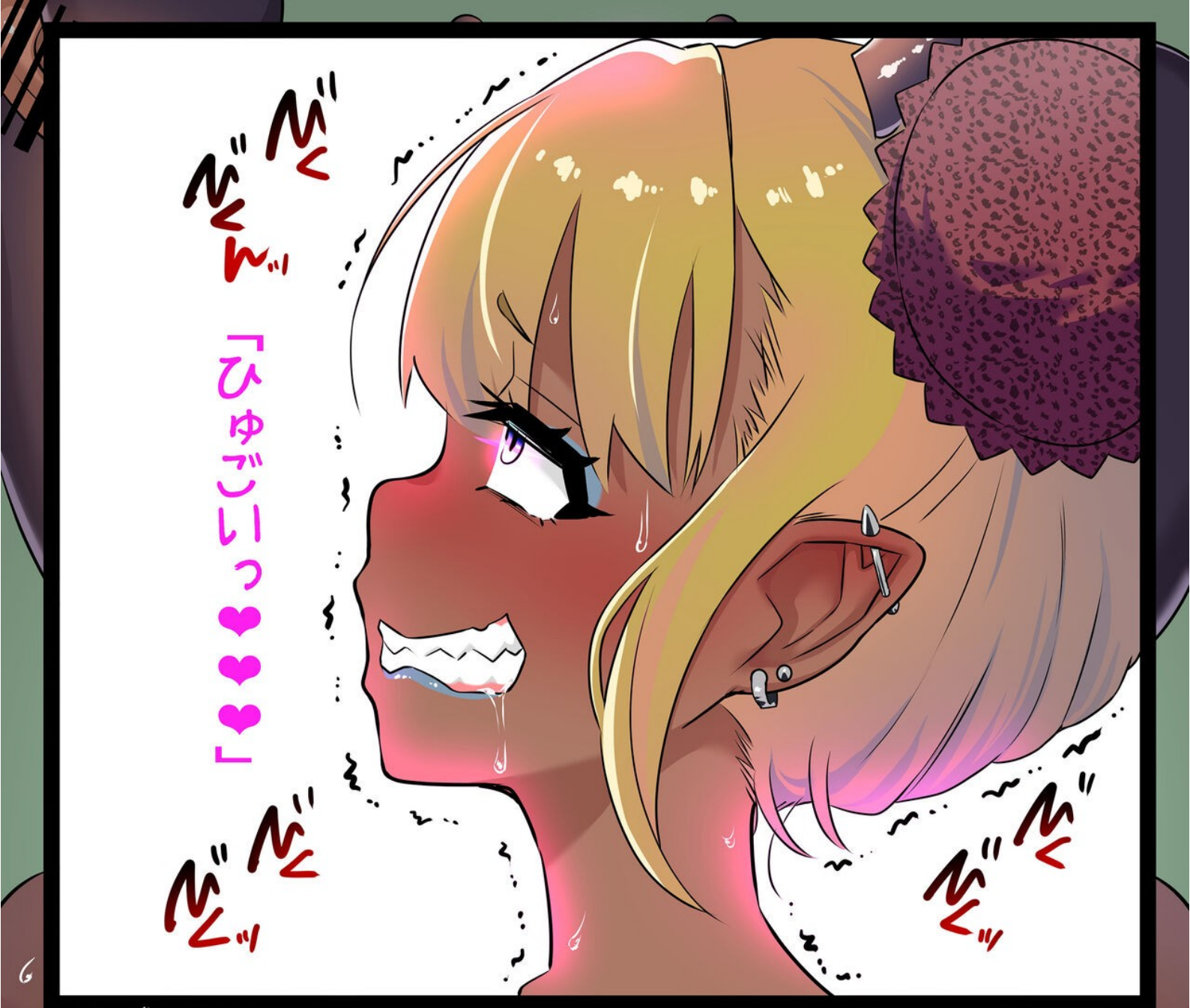
ドチュドチュ

ドチュ

ドチュドチュ

「ひひいっ腰っ
止まらっ!!」

ドチュドチュ





ビュルルルルルッ

ビュルルルルルッ

びかあ

ばああ

「ぎょへええええ」

「あーっくうッ!!」

「いみいいい」

ビカッ

ビカッ

ビカッ

ビュルルルルルッ

「ぎゃあああああ」

ばあああああ

「はっ♡」

ふんふん...

「と、止まった.....
た、助かった.....」

どろろ...

どろろ...

ふんふん...

ふんふん...





「あはあ……気持ちよかった……」

「それじゃっ2回戦目いっつか♡」

「ひいひい！」

「ちよつちよと待つ！」

「い
ぎ
い
い
い
い
い
い
」





「お肌つやつや♡」

「お兄さん達、ご馳走様〜」

ある日の出来事2

one day

青色海石化美術館
Aoi Umi Ika Bunko Museum

「わ、わたしに
こんな事してッ!」

「はあ？」

「アンタ何様あ?」

「わたしはテフラ、
ドリームランドの使者で……」

「……ああ……」

「アリサわかんなくいッ」



青色海石化美術館……

そこは前から黒い噂が立っていた場所だった……

その噂とは……

古今東西、様々な場所で神隠しに在ったであろう女子達が
石像にされているという事……

そんな場所に
潜入調査を依頼されたのは
テフラという獣人の少女(♀)だった





ある日の出来事3

one day

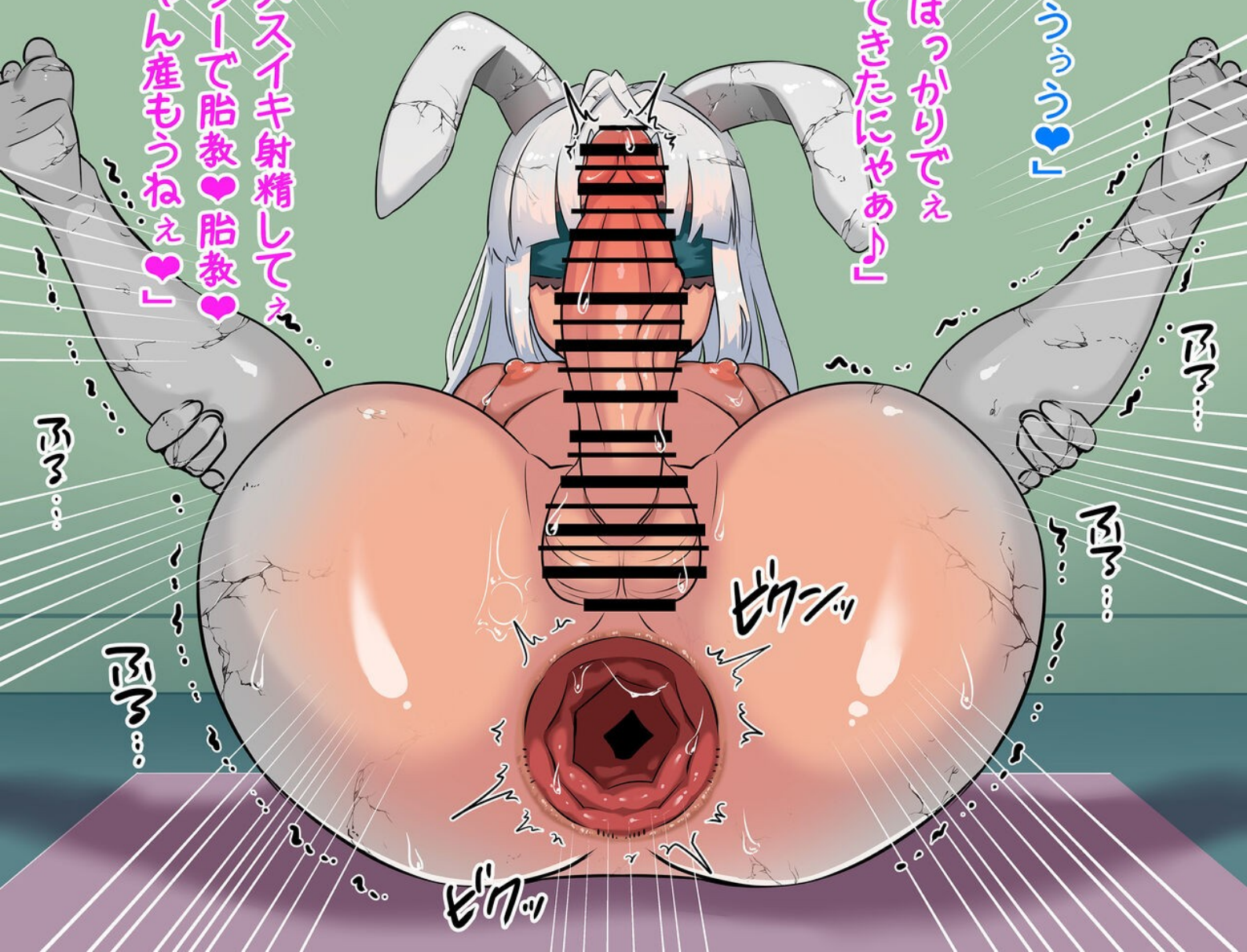
青色海石化美術館
Aoi Umi Ika Bunko Museum

24時間後

「あ……うううううう♡」

「アナルぽっかりでえ
仕上がってきたにやあ」

「いっぱいメスイキ射精してえ
メスイキパワーで胎教♡胎教♡
元気な赤ちゃん産もうねえ♡」









「や、やめれえくだしやいいい……」

「あれれ？」

「まだまともな意識あるんだあ」

ニヤァ……

「テフラくん、スツゴイねえ」

「正気のまま赤ちゃんが」

「育つ過程を噛みしめてね♡」

「やあああああッ」

ガッ……

ガッ……



「最後までえええ挿入っ」と♪

「あっあっああんっ
あああああああ♥」

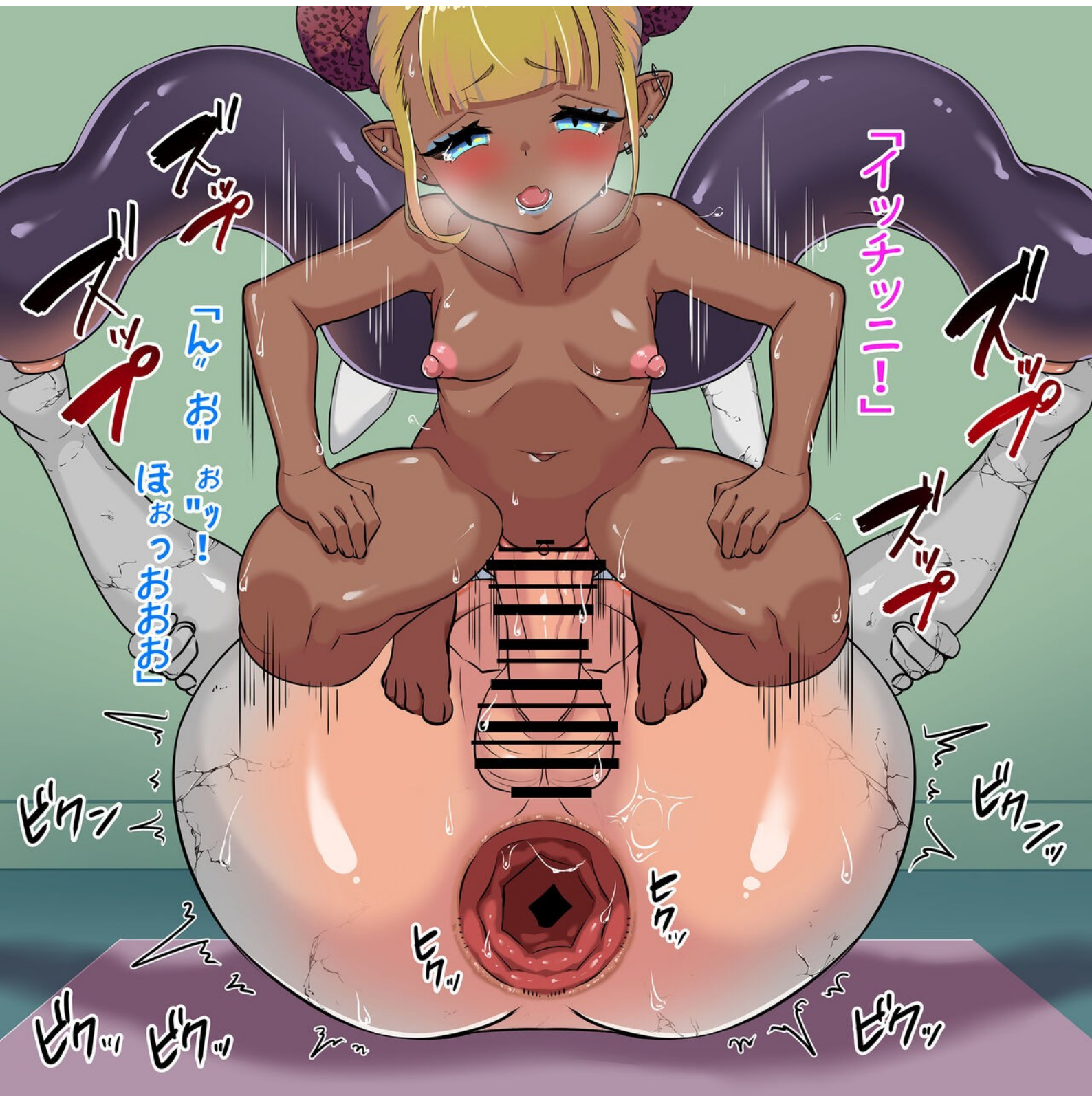
ド
ツ
ツ
ツ

チ
ツ
ツ
ツ



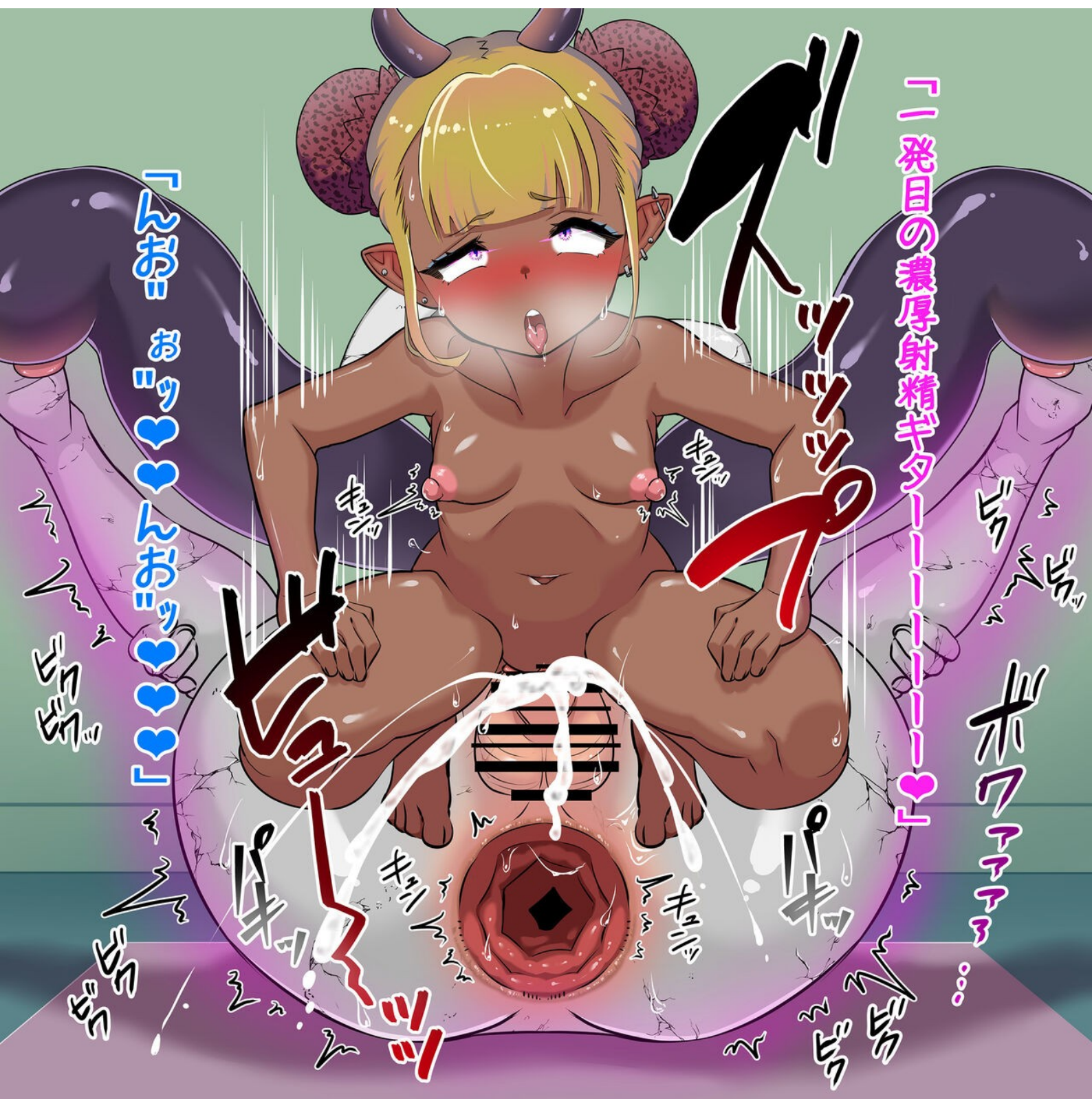
「あはあ……ぴったりオチンポお」

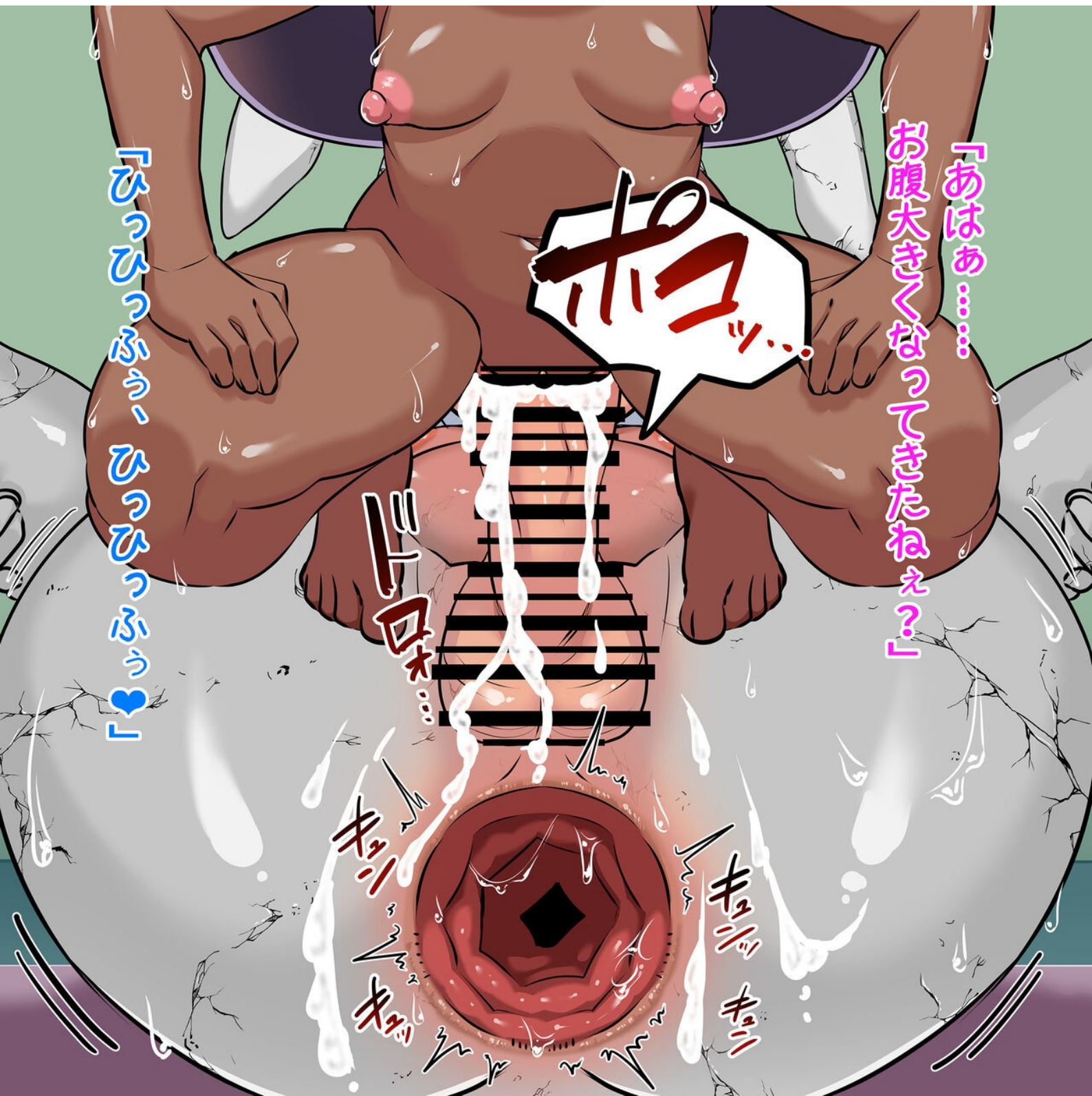
「アリスと一緒にオチンポ射精で
ケツ穴胎教頑張るうね♡♡」











「あはあ……
お腹大きくなってきたねえ？」

「ひっひっふう、ひっひっふう♡」

「ドロォ……」

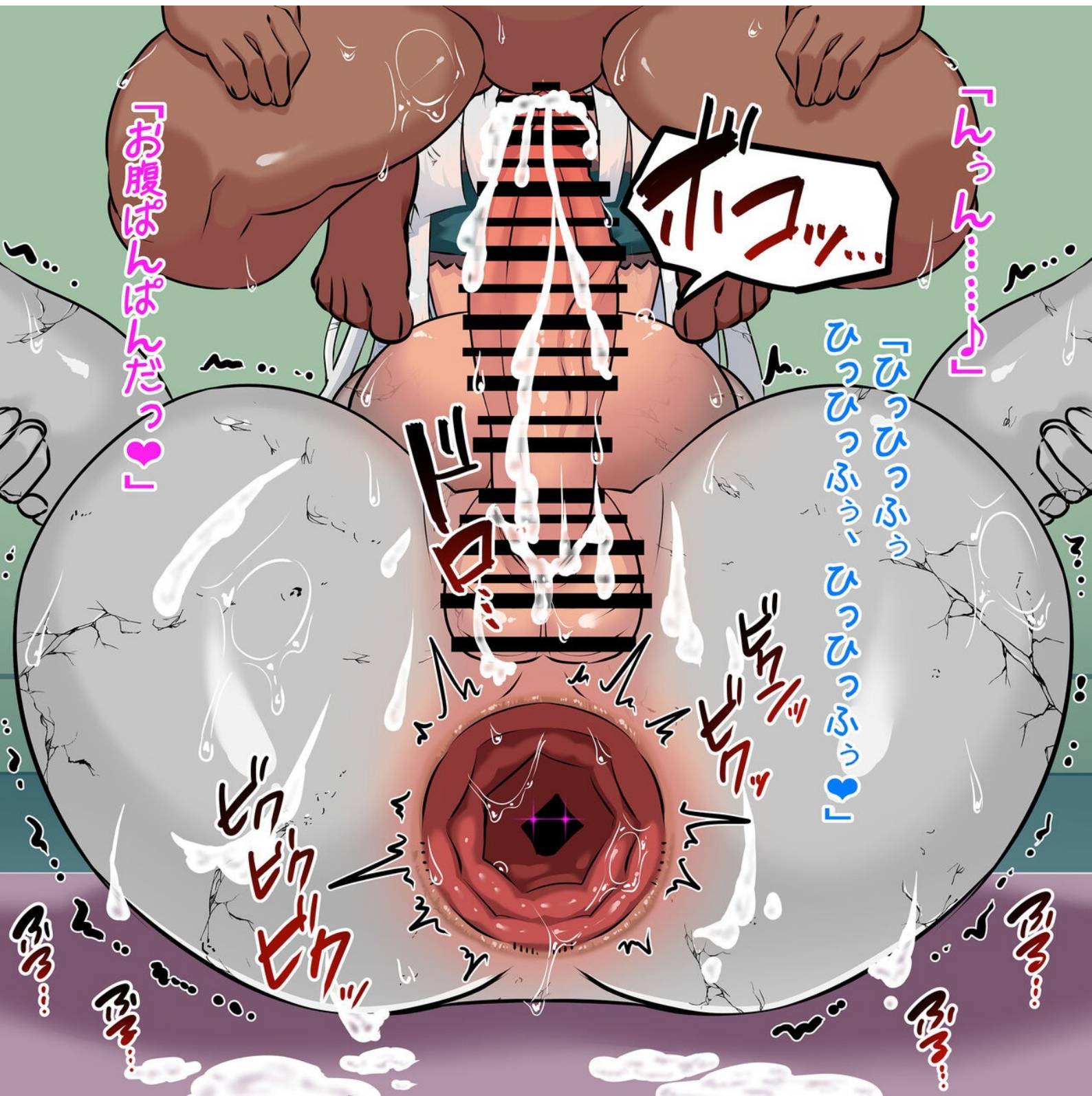
キュン
キュン
キュン
キュン

キュン
キュン
キュン
キュン









「お腹ぱんぱんだっ♡」

「んっ……っ」

「ひっひっふう
ひっひっふう、ひっひっふう♡」

「ド」

「カッ
カッ
カッ」

「カッ
カッ
カッ」

「カッ
カッ
カッ」

「カッ
カッ
カッ」







「あああああ
いのちの射精っ♡」

「うんうんおおおおおおお♡」

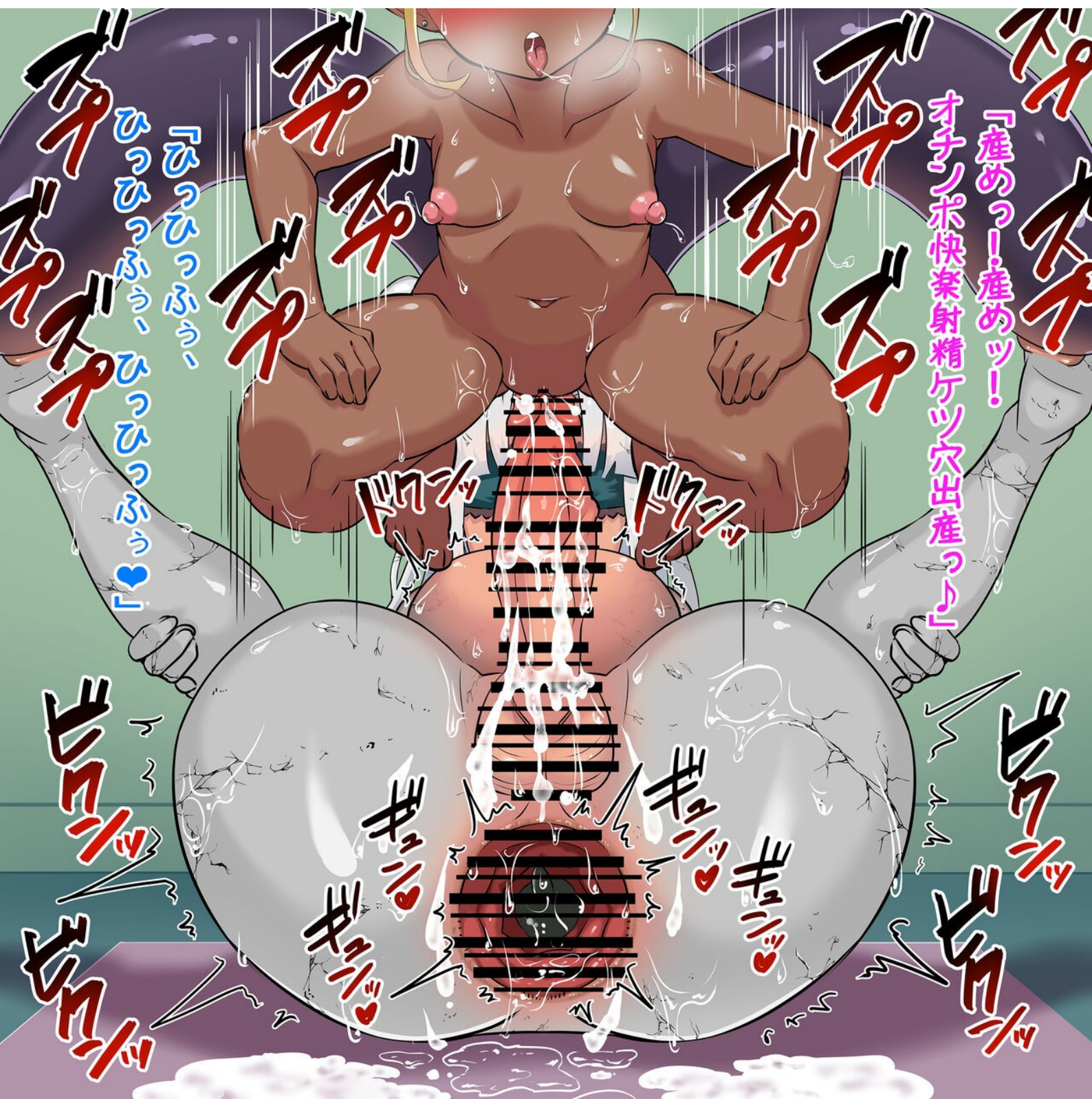
「破水したあああ」

ズルズルズル

モゴ

パッパッ

パッパッ







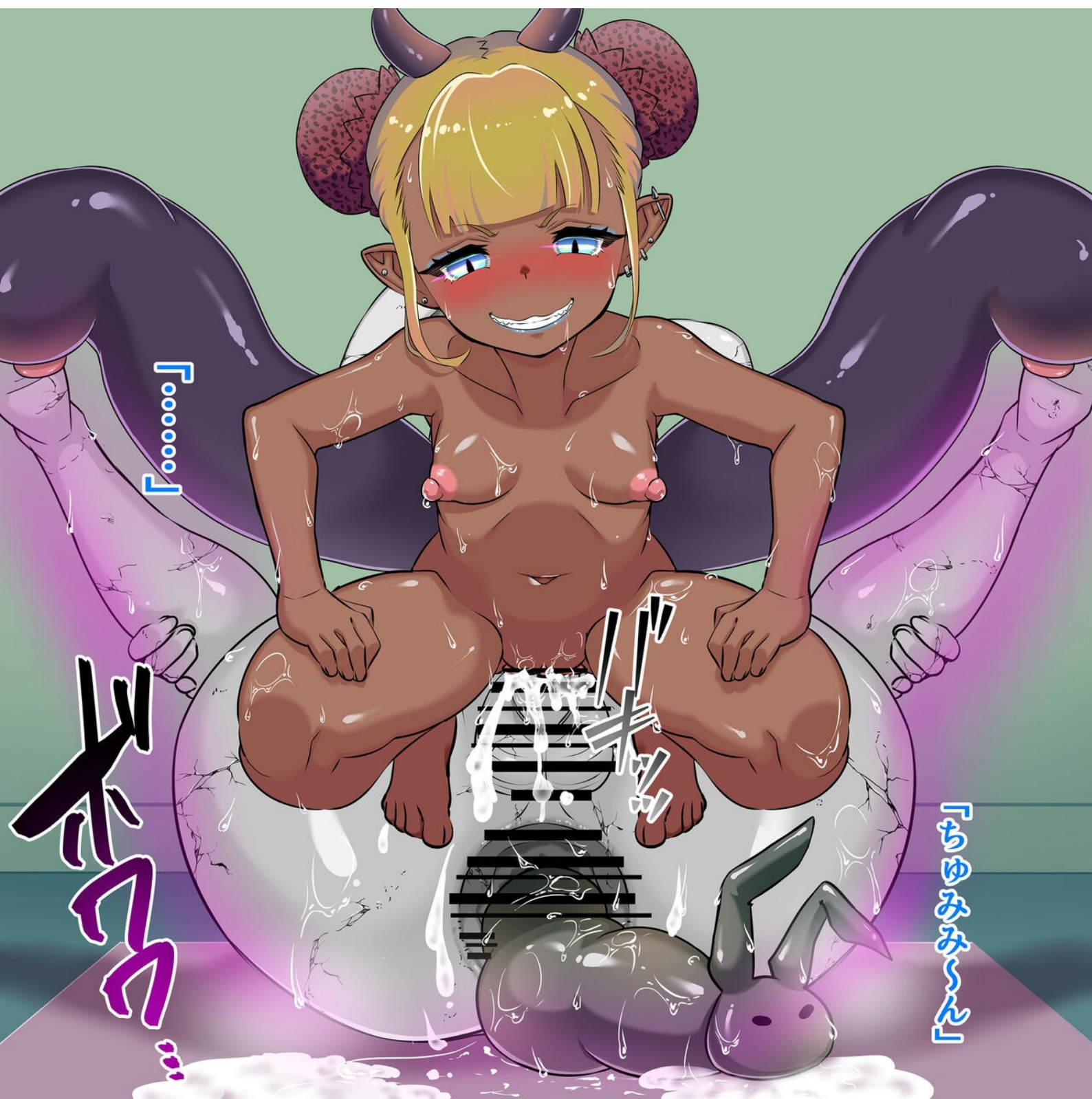


「ようっ！そお、新世界へ！
可愛い赤ちゃん♡」

「あっあ……がぁ……」

オ
イ

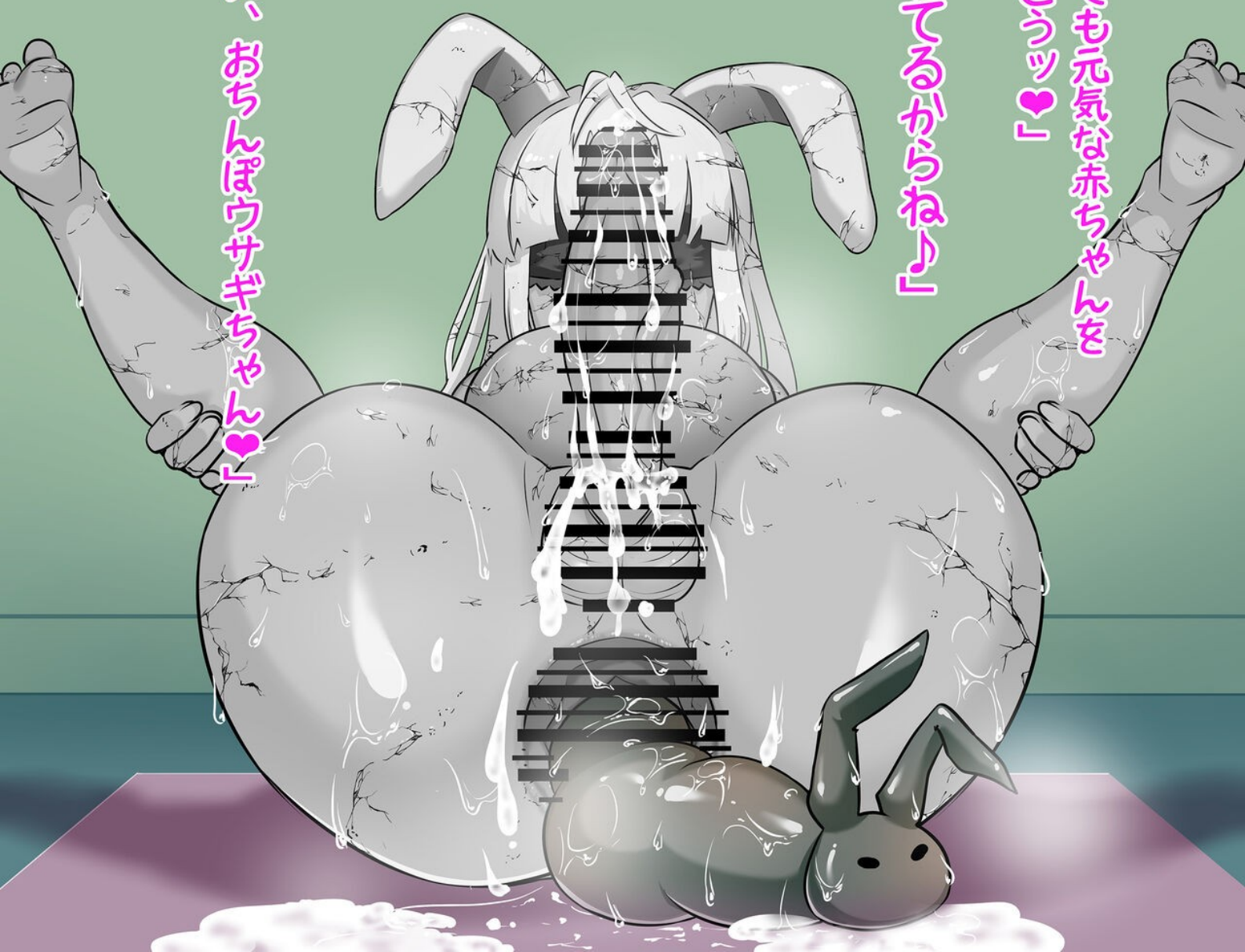
ビ
ン



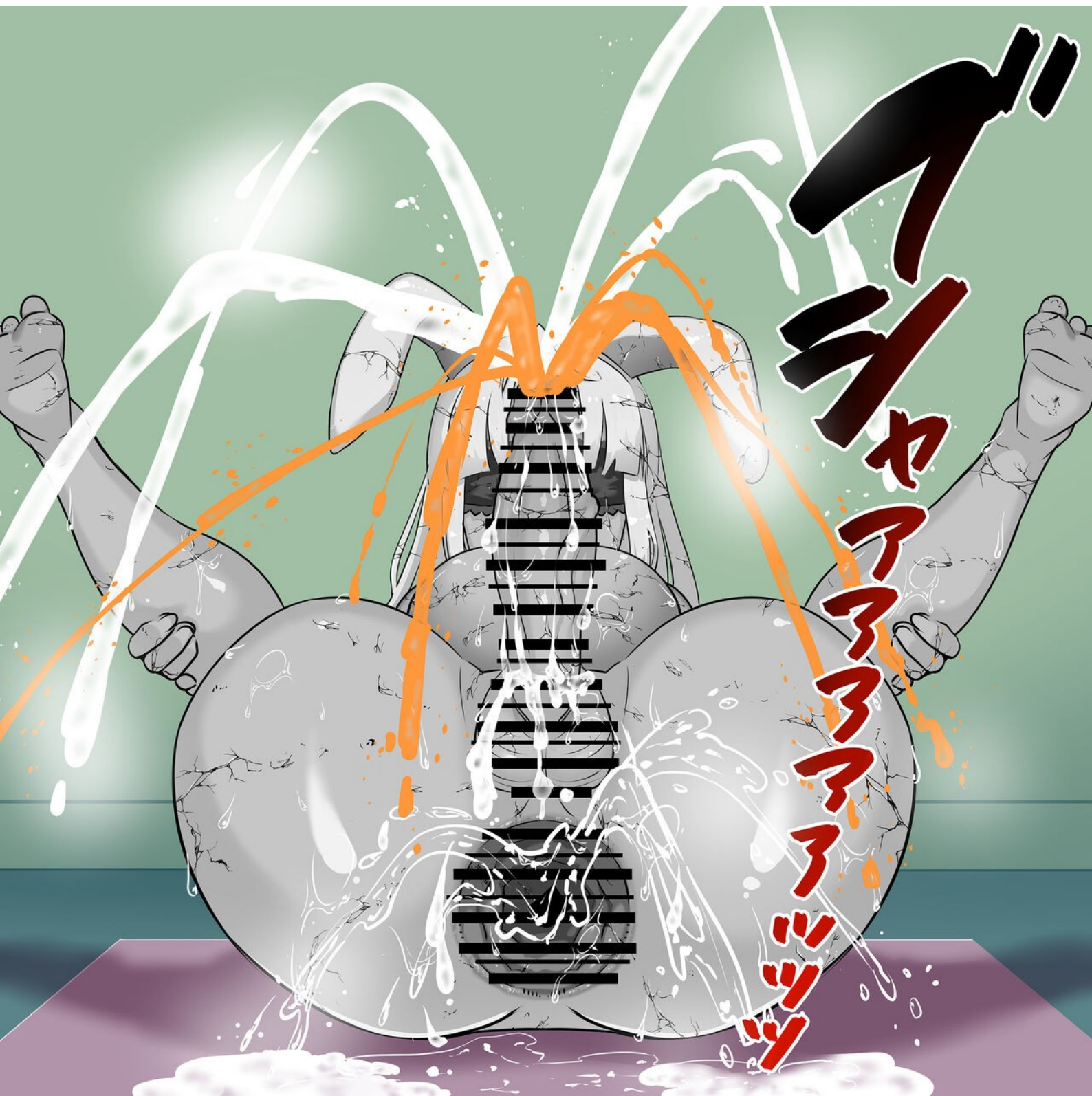
「とっても元気な赤ちゃんを
ありがとうッ♥」

「大事に育てるからね♪」

「ばいばい、おちんぽウサギちゃん♥」







ある目の

……東烏宿市内……

妖滅学園の英語教師：西園寺響子（32歳）は

教え子の退魔師達が次々と行方を眩ます中

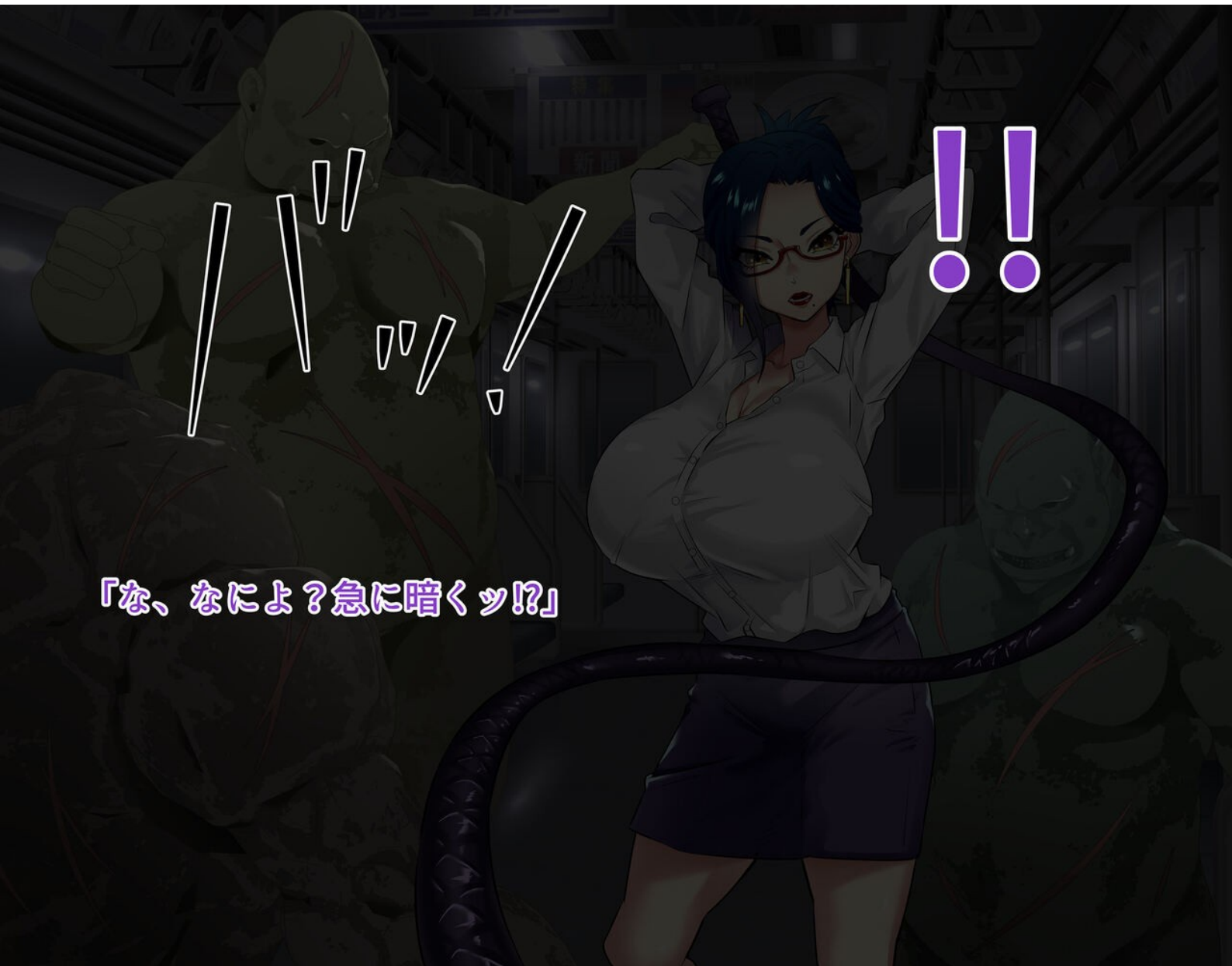
単独で妖魔達の巣くう地下鉄へと乗り込み

その圧倒的な実力で妖魔達を圧倒したまではよかったが……



「よくもウチの可愛い生徒達を!!
Repent and die.懺悔して死になさい!!」

妖滅学園英語教師
西園寺 響子 (32歳)



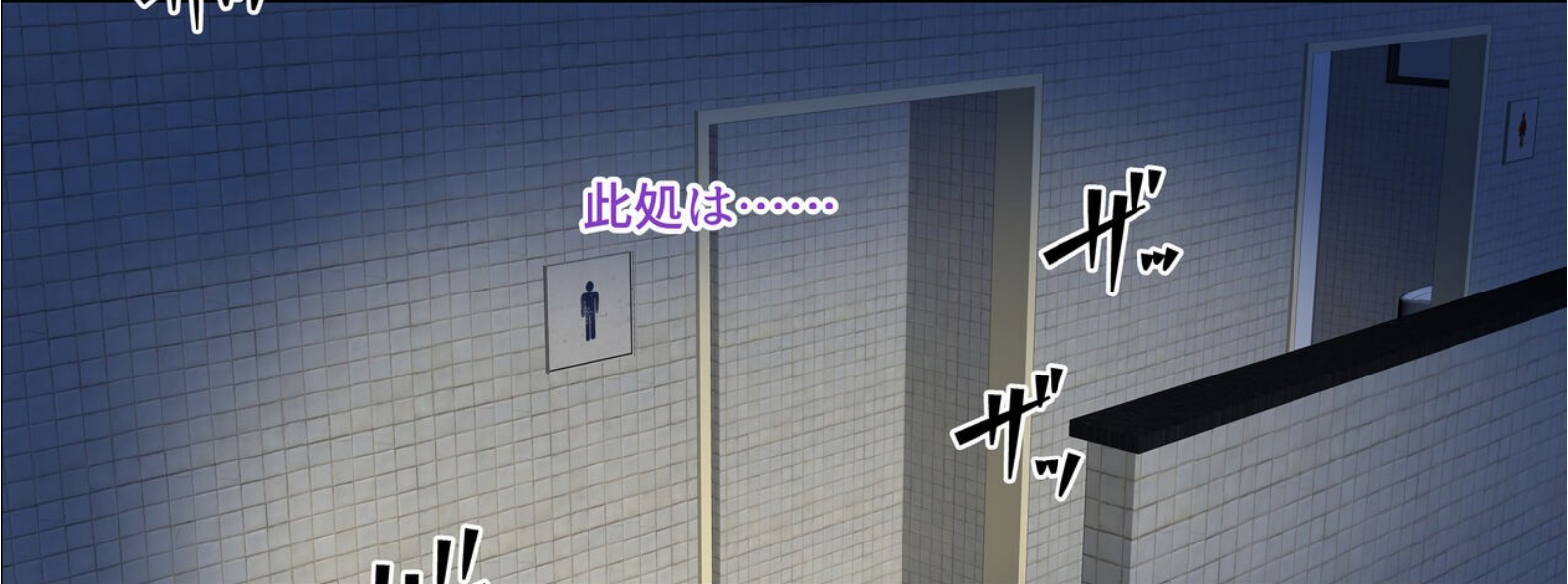
「な、なによ？急に暗くッ!？」

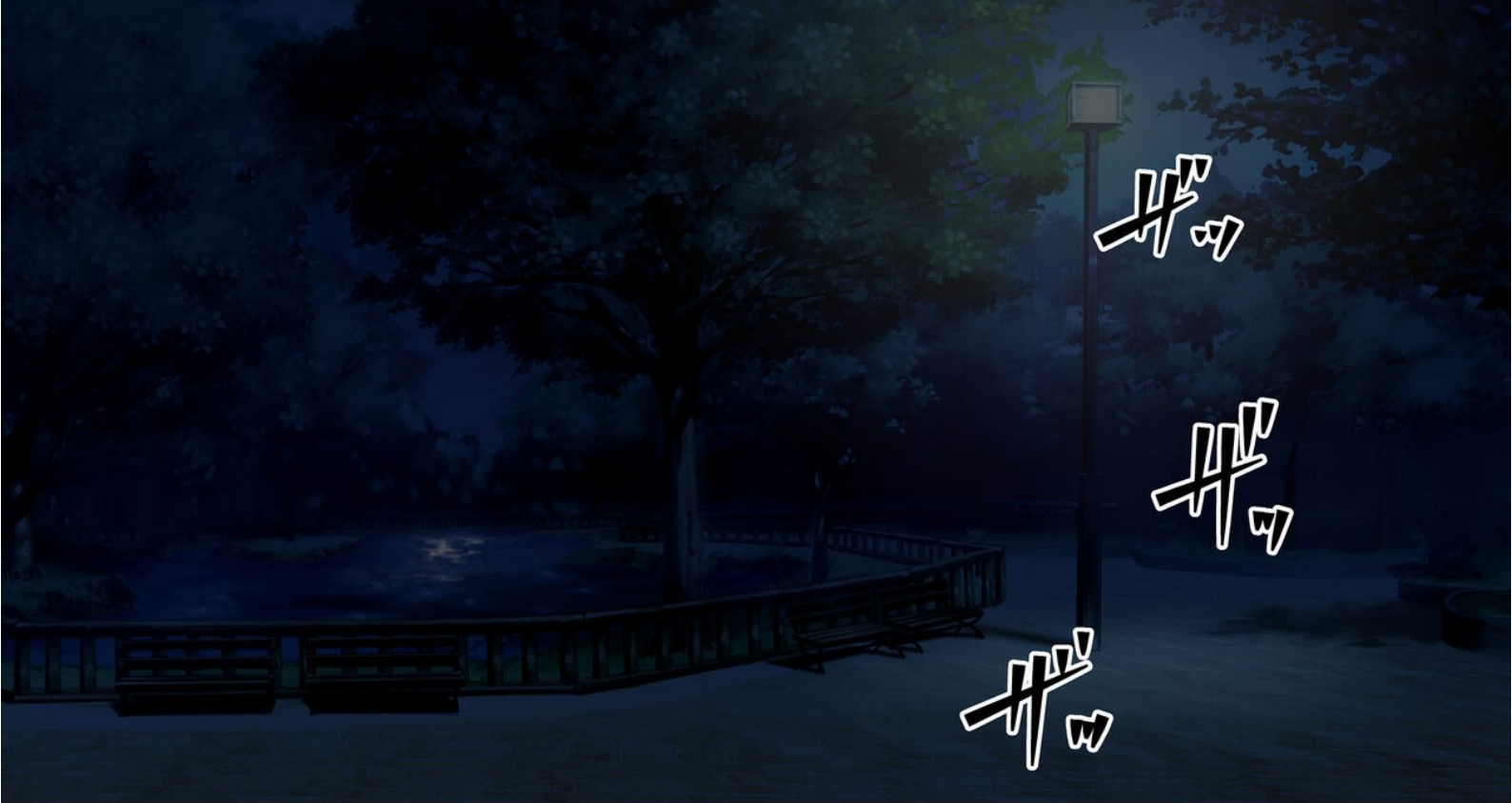
ちよつと……な、なに……よ……

意識が……

クっ耐えろ







まさか……
こいつら私を……
クソッもう……意識が



うう……あッ……ああ
ようやく効果が抜けたか……
あの状況下で高度な催眠を……



「ふう……Bastardsクソ共
こんな事をして只で済むと思っているのか？」

「私を誰だと思っているんだ？
いま解放すれば命だけは助けてやる」

「……」

「……」

「なッWhat the hell, お前たち
や、やめろおおおおおお」







はぁ

はぁ

はぁ

はぁ

はぁ

はぁ

「damn

私の乳首がこんなに開いて……

アイツら許さない……」

「さっさと便所を抜け出してッ」

はぁ
はぁ
はぁ

はぁ
はぁ
はぁ

はぁ
はぁ
はぁ

はぁ
はぁ
はぁ

はぁ
はぁ
はぁ

はぁ
はぁ
はぁ

「へぎやあッ♡♡♡」

ほお♡

ほ♡

「ぎ、ぎさまあああ
ぞ、ぞのおおお汚いdickをおおおほお」

「抜いてッ♡♡♡」

ト
ッ
ッ

チ
ュッ

「.....」

「ふ、うう、んッ、
あっあっあっ♡」

ほ、♡

ほ、♡

ほ、♡

ほ、♡

ほ、♡

ほ、♡

「抜いっでえええへひゃあ♡」

はるん、

はるん、

はるん、

はるん、

はちゅん

はちゅん

はちゅん

はちゅん





「またチンポきたああ♡♡」

「イっでるうう」

「イってる
最中だからああああ♡」

「.....」

あ
ん
ん

ん
ん
ん

あ
ん
ん

あ
ん
ん

あ
ん
ん

あ
ん
ん

「ま、まんさかあああ
そ、それは Stop it!!」

「やあああああッ♡」

「ooooo」

「ooooo」

「おひょおおおおッ♡♡」



「パンパンらめええなのおお」

「たんたんたんたん♥」

「.....」

『.....』

「やあ、やあ」

い
や
あ
あ
あ
あ







「んおおおお
か、体が変なのおお
変わっちゃううう♡」

「石になっちまえクソ豚女!!」

「ひひひ」

「ほひひひひ」

「おほっ 始まったぞ」

数時間後

「うしッ石化乳便所の完成だッ！」

「いやあ、焦りましたねえ
この乳豚女……結構な手練れでしょう？」

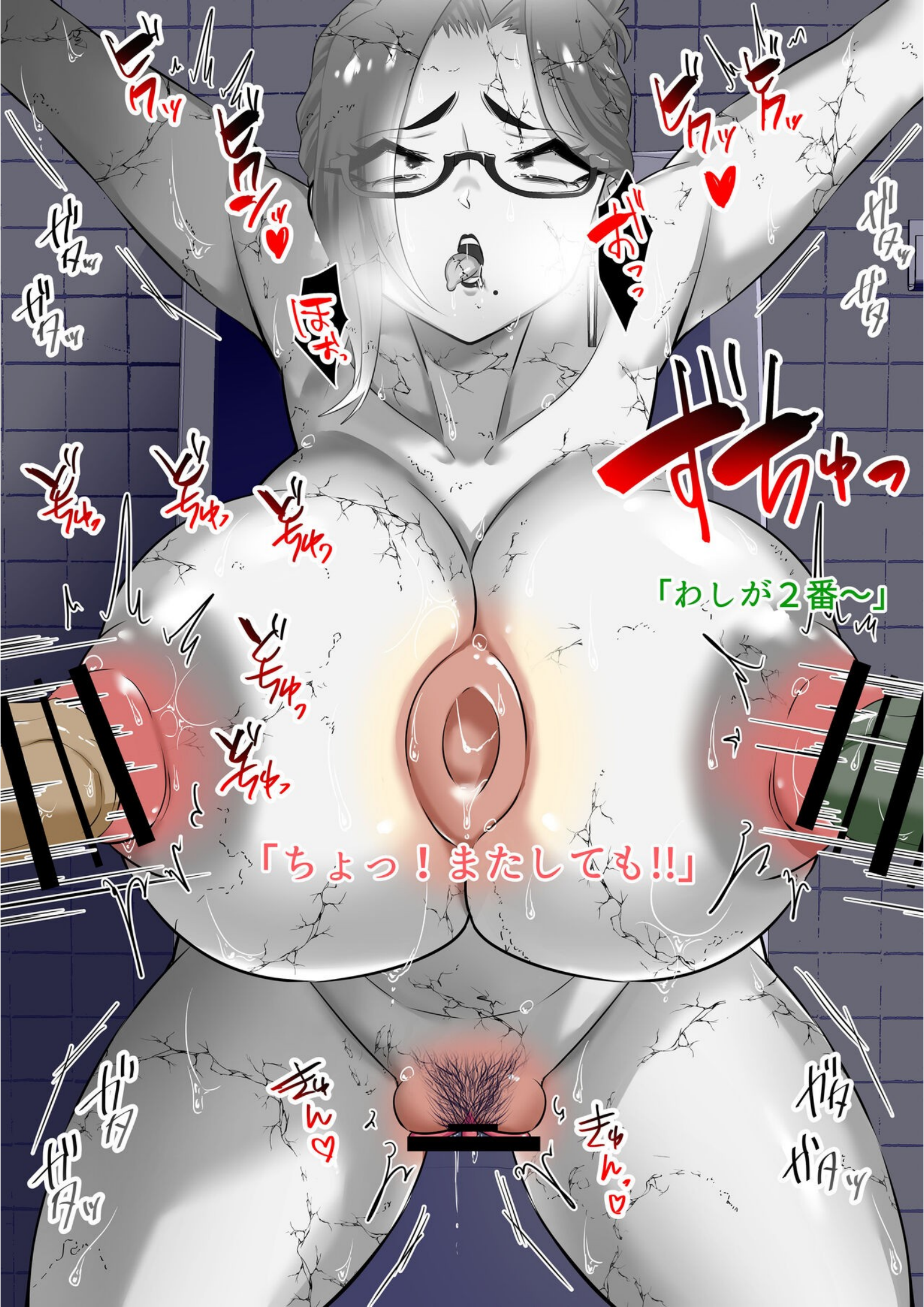
「我々が迂闊な発言や行動をしたら
ワンチャン逃げられる可能性もあったわけでねえ」

「他の支部は、それで潰されてるから～」



「よし
ここからは楽しむぞおお
俺が一番～」

「あっずるい！」





ガッガッ
ニッ
ン
ン
ン

ガッガッ
ン
ン
ン

「ははは」

「ひひひ」

「また谷間かよおお」

ビュッ!!

「では私は、またマンコを」



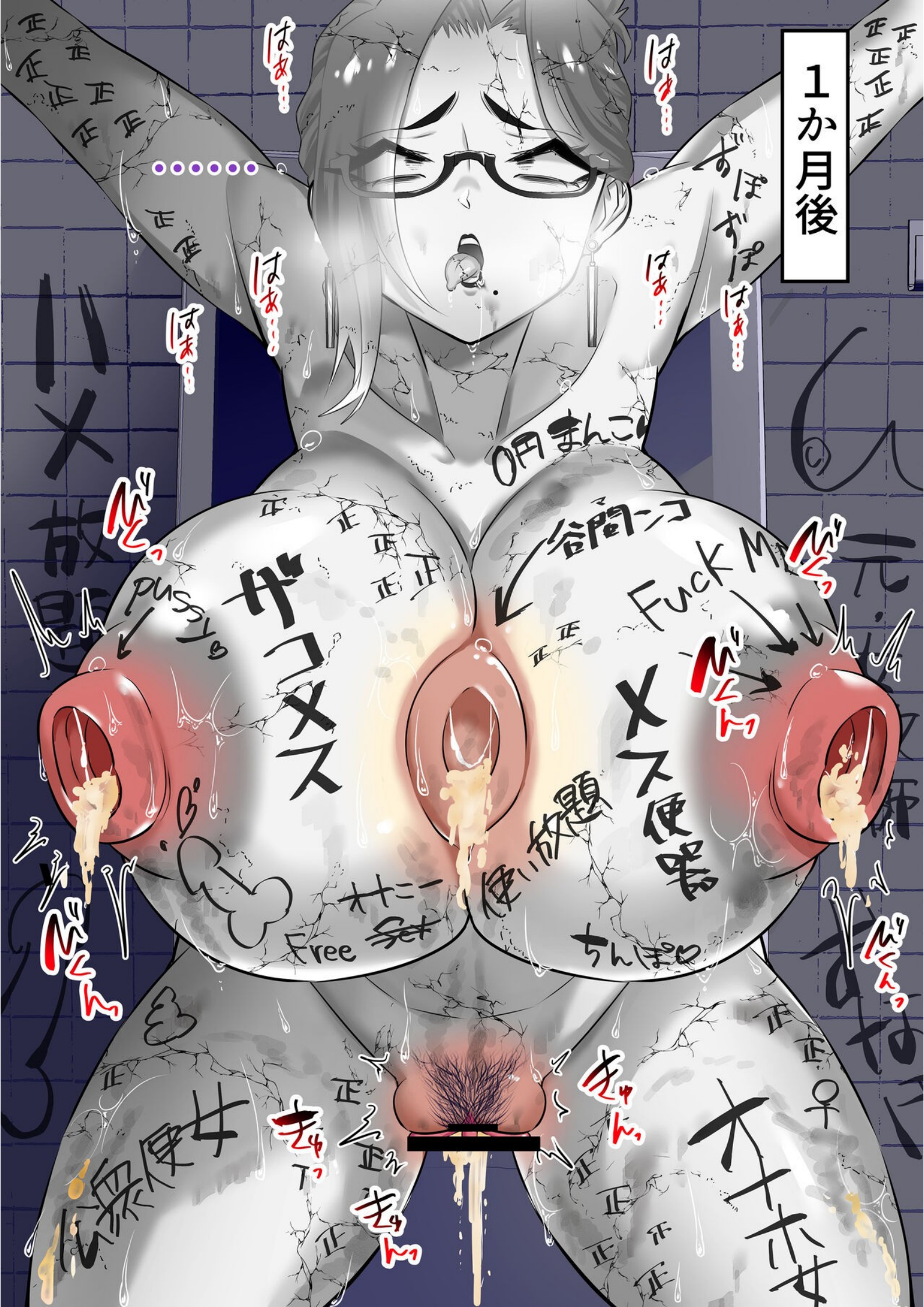
「嗚呼～いいですわぞお
谷間マンコ～」

「最高だよなこの乳豚女
しばらく使ってやるうぜ」



誰か.....た...す...け.....て.....

1
か
月
後



被害者一覧



桜峰 こころ(〇6歳)
バスト 107センチ
総ザーメン量 3ℓ



月ノ宮童子(112歳)
バスト ちっぱい
総ザーメン量 25ℓ



橘 アオイ(〇8歳)
バスト 92センチ
総ザーメン量 5ℓ



西園寺 響子(32歳)
バスト 116センチ
総ザーメン量 16ℓ



桜峰 みらい(〇6歳)
バスト 107センチ
総ザーメン量 3ℓ



エルル・リングール
(77歳)
バスト 102センチ
総ザーメン量 47ℓ



ロジン・ケルピール
(〇7歳)
バスト 78センチ
総ザーメン量 32ℓ



マオル・ハカ
(〇7歳)
バスト 120センチ
総ザーメン量 38ℓ

ある日の出来事4

one day

青色海石化美術館

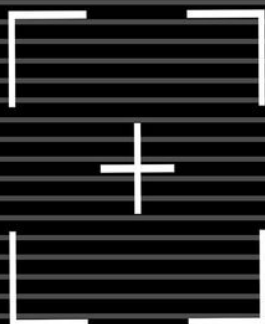


● REC

00:00:21:21

「この位置かなあ？」

おっけー♪」



「ハイ みんな元気？
アタシは青色 あみ♪」

● REC

00:01:06:57

にこにこ♡

はっ

っ

っ

っ



「今日は皆にサプライズがあるの!」

● REC

00:05:03:57

にゃ♡

にゃ♡

ぽよん♡
ぽよん♡

ぽよん♡

ぽよん



「オマンコッ、お
オチンチン気持ちいいよおお
もっとお」

● REC

00:05:03:57

「ジャーン！
調教済みの可哀想な
ゴスロリちゃんでーす」

「アハハッ
すっかりバカになっちゃうでるね」

「街で偶然見かけてね
パパに頼んで
フタナリ石化像にして
貰っちゃった♡」







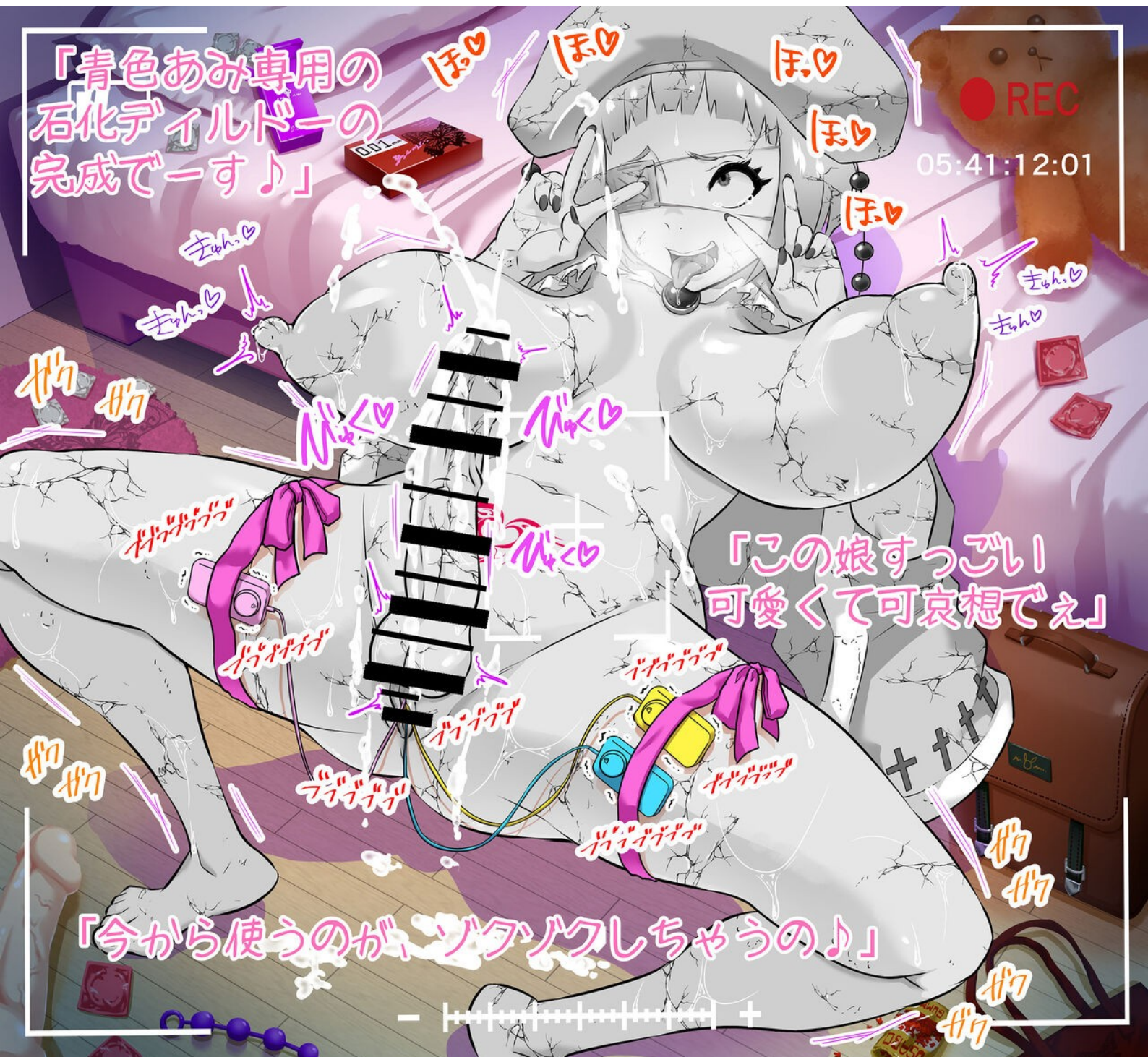
「青色あみ専用の
石化デイルダーの
完成でーす♪」

● REC

05:41:12:01

「この娘すっごい
可愛くて可哀想でえ」

「今から使うのが、ゾクゾクしちゃうの♪」





● REC

13:02:43:08

「あーん きもちい〜♡
さいっこう♡♡♡」

は♡ は♡ は♡
は♡ は♡ は♡

はち♡

ま♡ん♡
ま♡ん♡

「この娘とオチンポと
相性バツチリ♡♡♡」

はち♡

はち♡!

はち♡

「ああ〜イグイグイグイグ」





「いっぱい！
潮吹きちゃった♡」

4:17:00:00

ぐしゃあああああ♡

「アナタも色々
いっぱい出したね♡♡」

ほた♡

ほた♡

物

物

物
物

物

ガッ
ガッ♡



「お風呂入ってこよ♡」

REC

4:36:05:18

はぁ♡

はぁ♡

はぁ♡

はぁ♡

はぁ♡

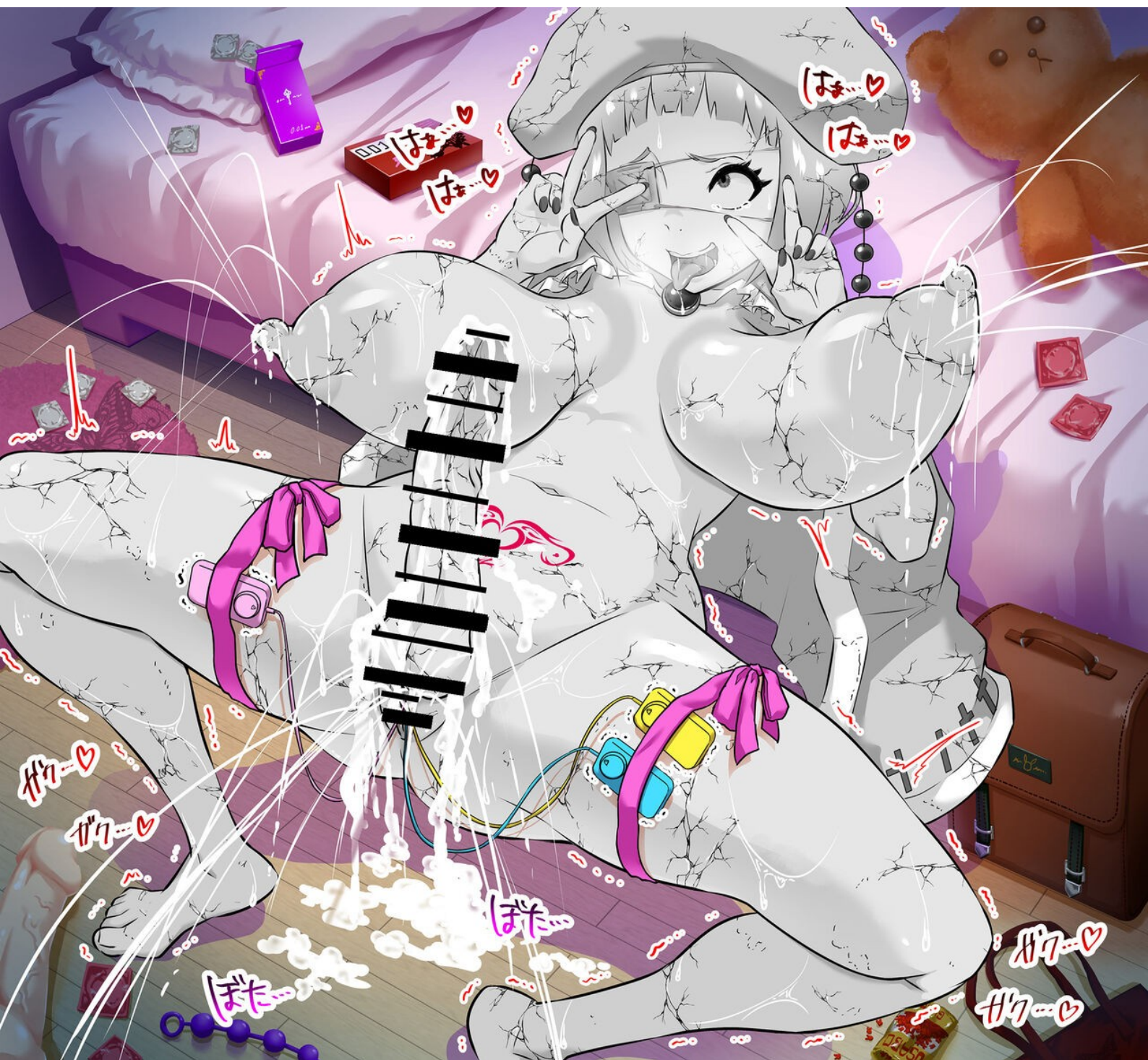
はぁ♡

「それじゃっ
皆またねー♡♡♡」

ぷん

ぷん

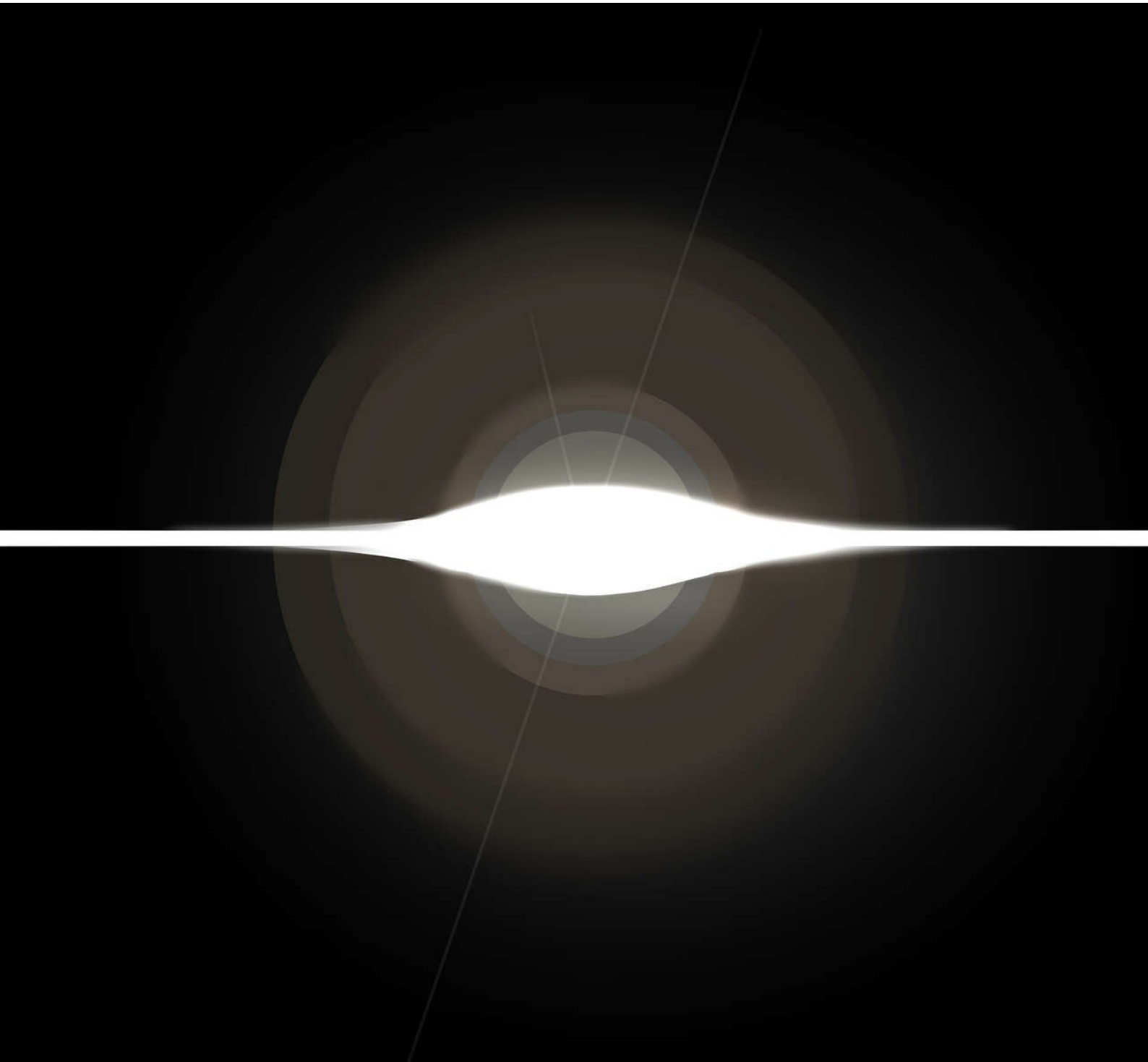




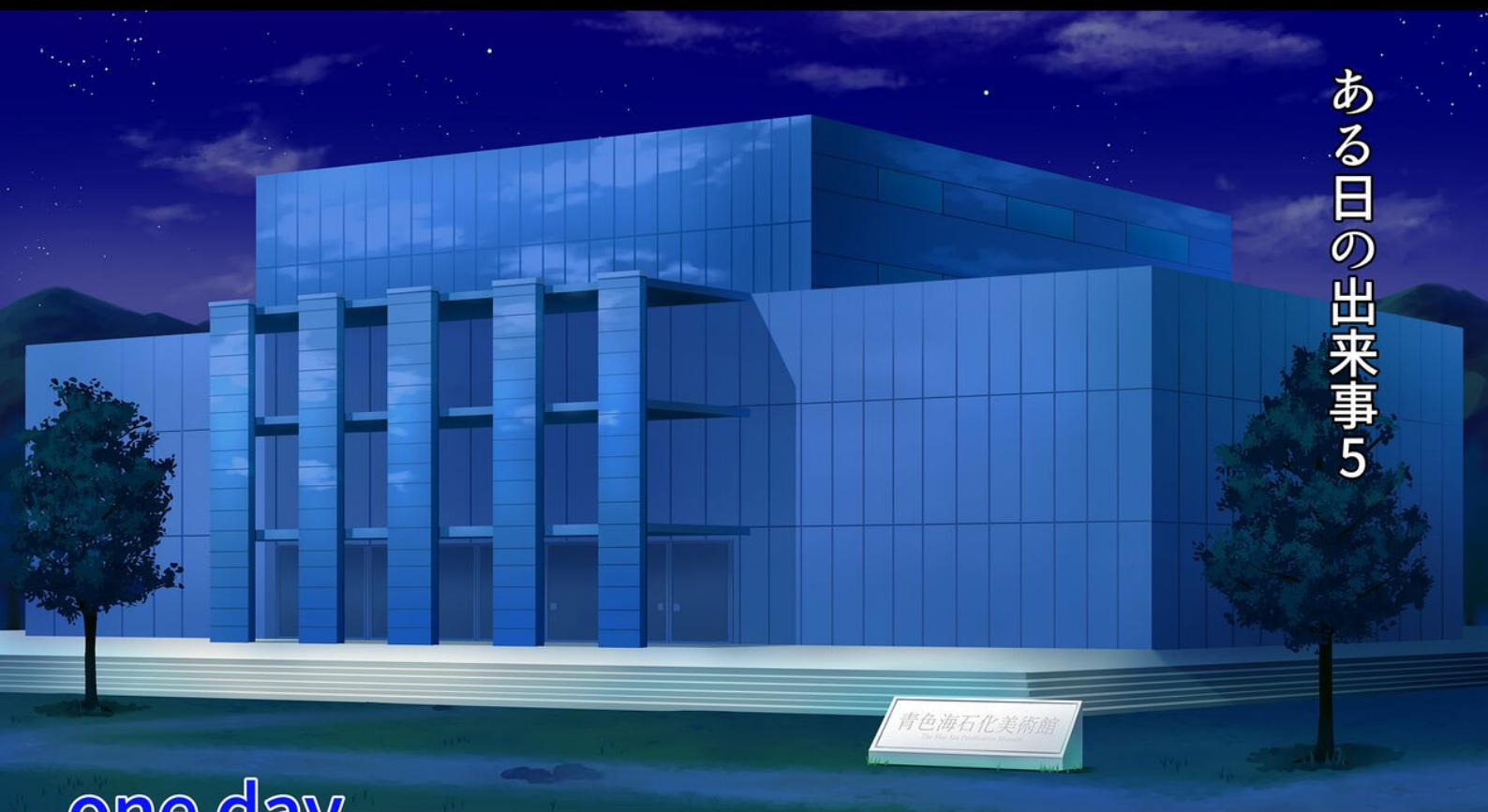


REC

17:37:11:00



ある日の出来事5



one day



● REC

00:01:06:57

「ハロー♪みんな元気?
青色 あみDayo」

「サプライズ第二弾〜」

「さ、撮影とか
やめてくださいですう...
や、約束が.....」

「ちょっと黙ってて
もらえるかなあ.....?分かるよね.....」

ぷるん。

ぷるん。
青色海





「うるさかったよね、ごめんねー
なんだと思う？え、あみの生ハメ配信？」

● REC

00:03:12:27

「ハズレ〜っ♡
正解わあ」

ぷん

ぷん

青色海



「ジャーン! 魔族の男の娘
深未ちゃんです♡」

● REC

06.05:03:57

「撮らないください……は、恥ずかしいので」

「この子ね
友達を探しに
来たんだってさあ」

「あ、あみさん…
お願い……ですう」

「その友達って
あみのバカ妹が
石にしちゃった
テフラちゃんって
子なんだけどね(笑)」

かえっ

青色海

「あみは優しいからあ
ある約束をしたの
あみの責めに耐えれたら
友達を元に戻して二人で
一緒に帰っていいよって♡」

● REC

00:10:01:12

「体ちっちゃいのに
良いオチンポ持ってんねえ
それに石化淫紋に
耐えるなんてマジつよッ(笑)」

「そ、そんな...こと.....
耐えて、テフラちゃんと帰るのですう」

青色海



● REC

00:12:43:12

「友情って良いよね♪
あみもそういうの大好き！」

「ボクは絶対に
屈しませんですう……」

「アナルヴァージン
奪われたあげく
大量におもちや
突っ込まれて
決意表明とか(笑)」

「じゃあ
はじめよっか♡」

青色海



● REC

00:15:03:57

「そおれ
シツコシツコシツコシツコ♪」

「んぐうう♥」

んぐん

んぐん

んぐん

んぐん

「どう？
あみの手コキ」

「……ん…んう…♥♥」

「ちっちゃな体で
必死に耐えてて
可愛いねえ♥」

んぐ

んぐ
んぐ

青色海



「あみはねえ
オチンポ見たら
きもちいところ
分かつちゃうんだよ♪」

● REC

00:55:08:35



「深未ちゃんわあ
亀頭と裏筋の間
かなあ？」

「じゃあ一発目
イっちゃおつか♪」

ほいあおあ...

「ッ……」

青色海



「そおれ☆」

● REC

01:17:41:26

どンッ

「ん ぎい...っ
あは、はへ、え♡♡」

「耐えれなかったよ？
あーあ、少し石に
なっちゃった♡」

「~~~~♡」

青色海

「まだまだイクよお
シコシコシコシコ♡」

● REC

01:18:39:19

「ふぐうううッ
い、ぎいッ♡♡♡」

「頑張れ頑張れッ♪
あみは応援してるよッ」

青色海

「アハっ噴水みたい♪」

「ひ、んぐ、やめっですう、
な、あ”テフラ
ほ、ほめっんなしやい
は—…っい〜っ♡♡」

● REC

02:13:03:37

「にやに言ってるのが
わかんないよお？」

青色海

「石化進行はやッ(笑)」

● REC

05:03:22:35

「最後の1コキ♪
バイバイ深未ちゃん♡」

「.....」

青色海

「ア/V/V/V/V/V
最初から助かる見込みなんて
無いんだよお!!!」

● REC

06:36:15:24

おは♡

「あみわあ
深未ちゃんみたいな
正直で優しそうで
お馬鹿な子を
石にするのが大好き♪」

青色海



「ああ～楽しかった♡」

● REC

06:40:13:59

「てか、すごいね
ザーメンごと固まるとか
ウケル～」

青色海

「石化好きのみんな～
どうだった？
今回も最高だったでしょ？
あみは大満足♡」

● REC

06:47:01:07

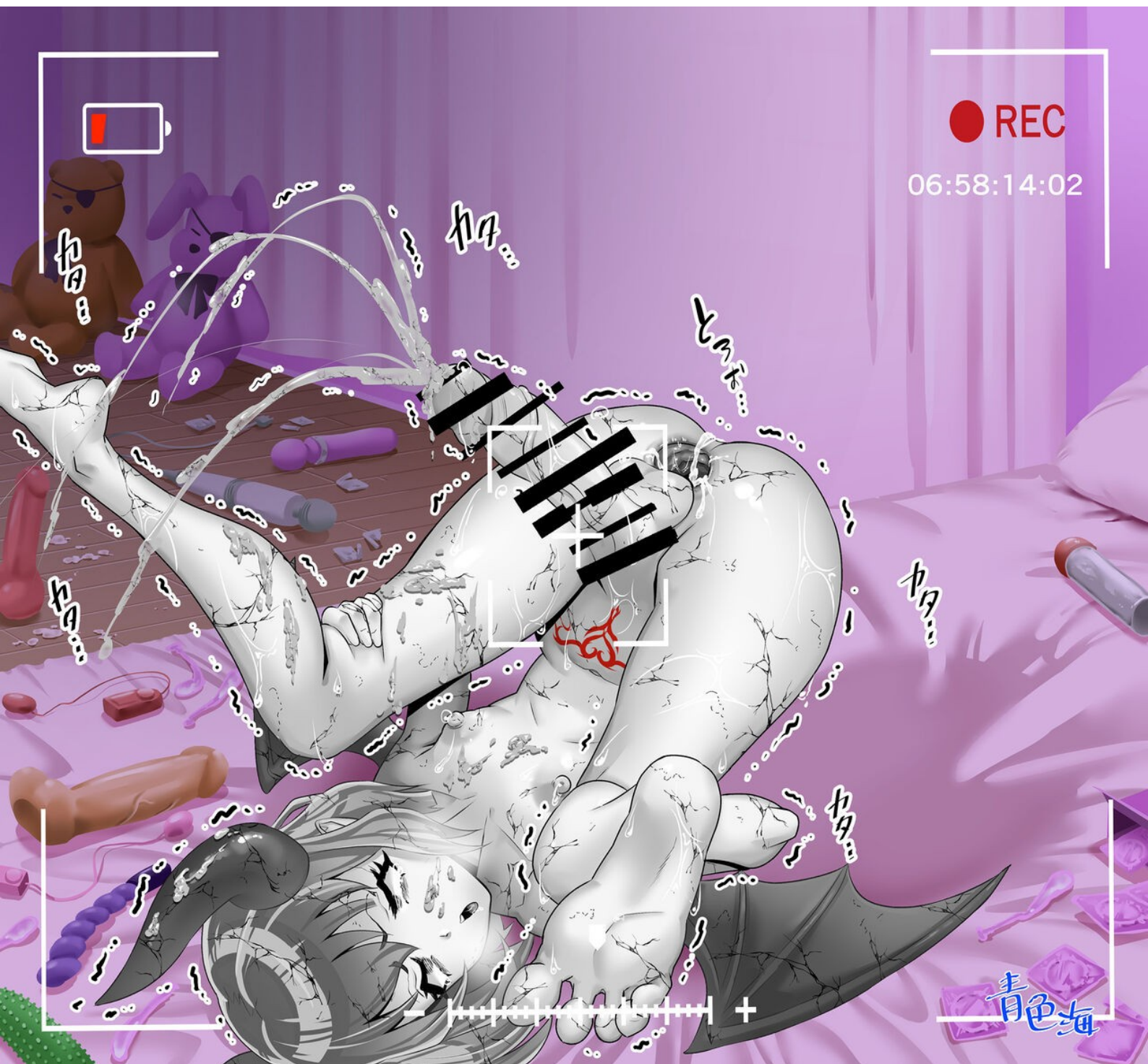
いっしょ

「次も期待しててね♡
それじゃつまたねえ～」

あみん

あみん

青色海



● REC

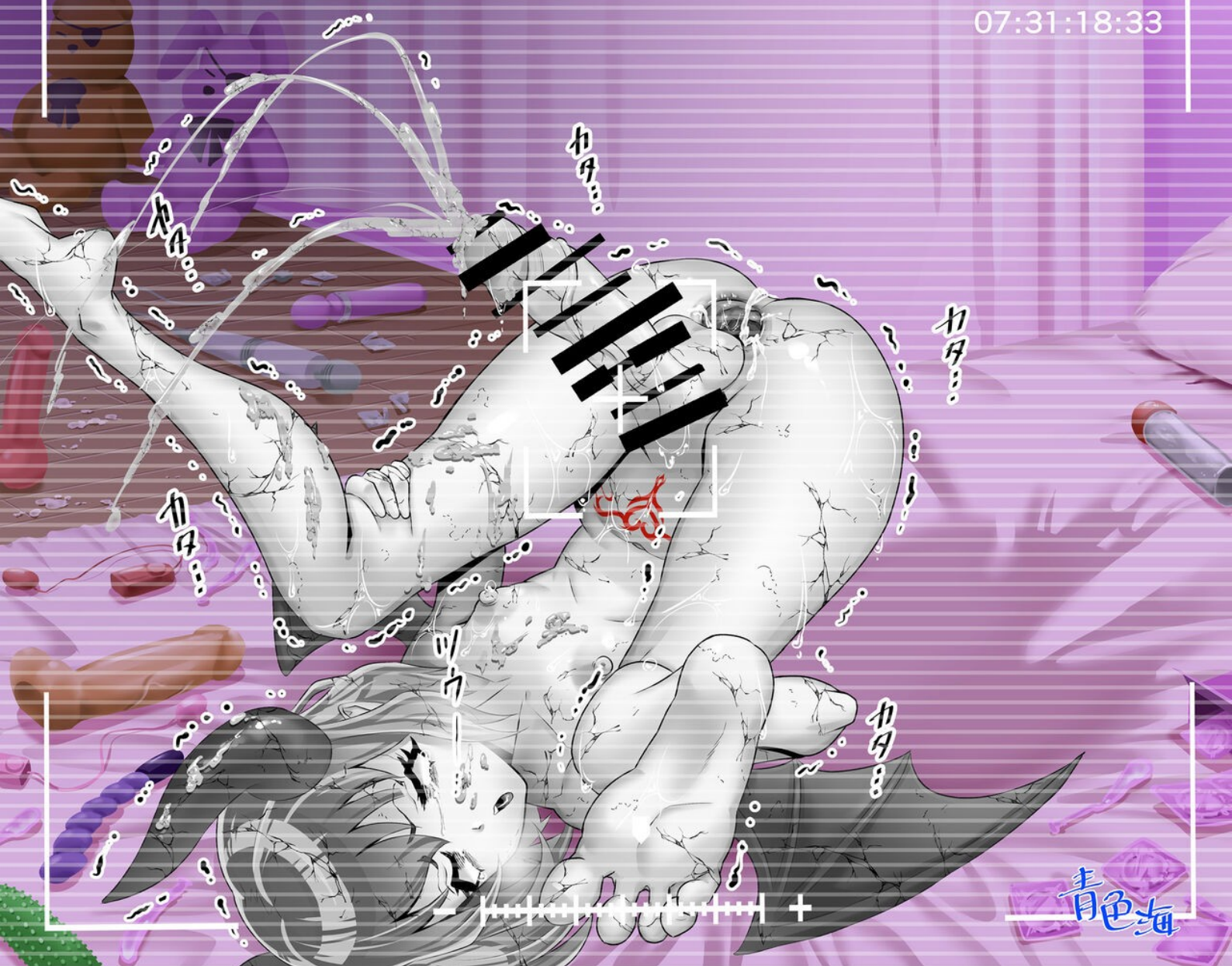
06:58:14:02

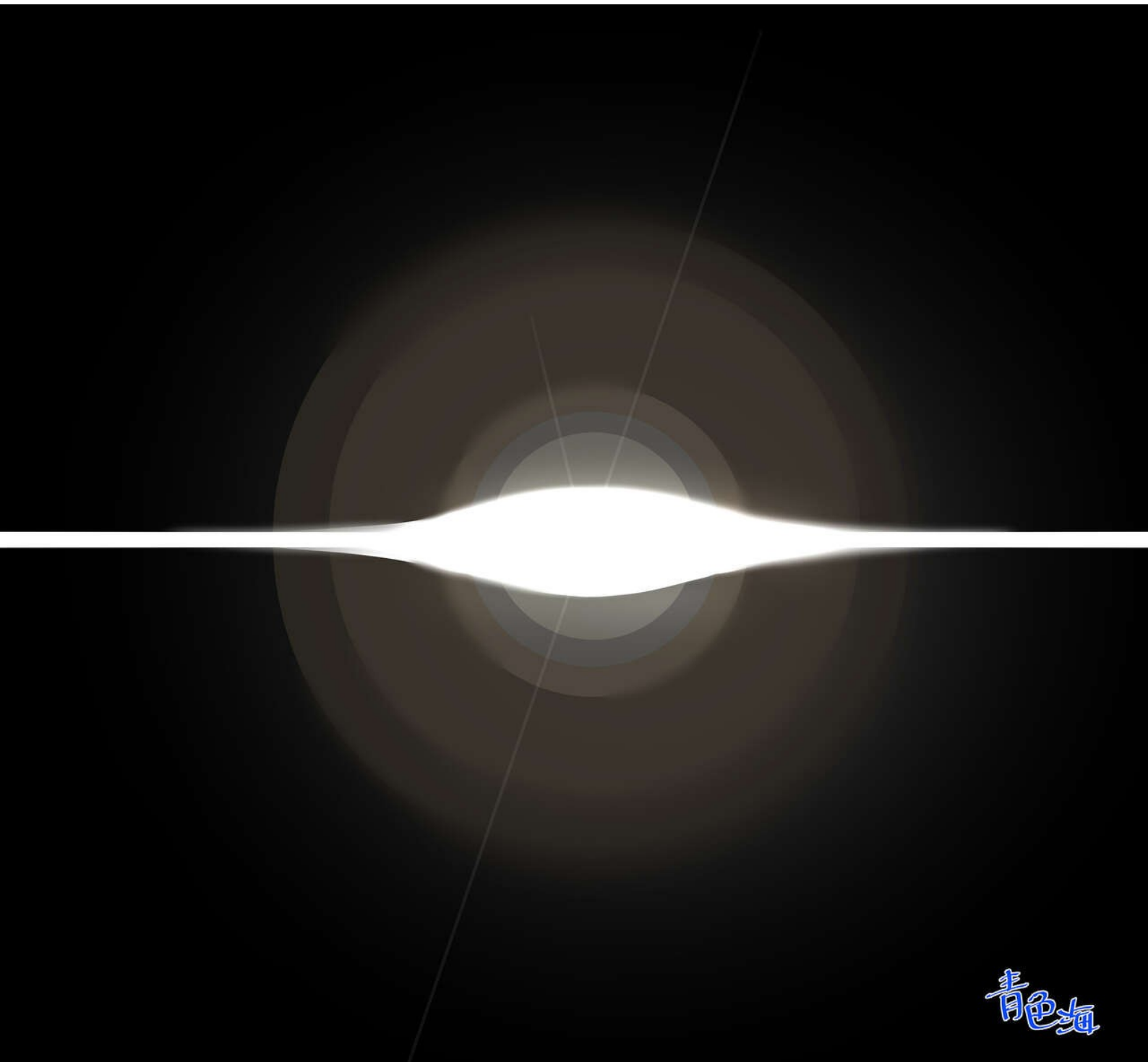
青色海

0%

● REC

07:31:18:33





青海